

## 目 次

目次	1
1. 2007（平成19）年度の主な活動	3
* 2007（平成19）年度の入館者一覧	4
2. 資料の収集・利用	5
2-1 資料の収集	
(1) 受贈	
(2) 寄託	
2-2 資料の利用	
(1) 貸与	
(2) その他	6
3. 展示活動	7
3-1 常設展示	
(1) 歴史展示	
(2) 美術・工芸展示	9
(3) その他の館内展示物	11
3-2 特別展示	12
(1) 自主企画展	
(2) 共催展等	13
* 2007（平成19）年度特別展の開催状況一覧	17
(3) 「京都府美術工芸新鋭展 ～2008京都工芸ビエンナーレ～」	
(4) 京都府民ギャラリー事業への協力	18
3-3 映画	20
(1) 常設上映	
(2) 映像ギャラリー常設展示	22
(3) 京都府映像文化センター運営委員	
4. 調査研究活動	23
4-1 学芸員の活動	
(1) 博物館研究費による研究	
(2) 外部研究費・共同研究等による研究	
(3) 出講・委嘱	
(4) 学芸員の業績	
5. 普及活動	25
5-1 出版物	
(1) 京都文化博物館研究紀要『朱雀』	
(2) 京都文化博物館年報	
(3) 展覧会図録	

5-2	講演会・音楽会	…	…	…	26
(1)	講演会など				
(2)	音楽会	…	…	…	27
5-3	博物館実習	…	…	…	28
5-4	その他の活動				
(1)	資料閲覧室				
(2)	文化情報コーナー	…	…	…	29
(3)	ホームページによる広報とコンテンツの提供				
(4)	生涯学習ボランティア				
(5)	団体見学案内	…	…	…	30
(6)	京都文化博物館友の会				
(7)	学習普及活動				
(8)	地域との連携	…	…	…	31
6.	ギャラリー事業	…	…	…	33
6-1	5・6階展示室				
(1)	京都文化財団展示室運営委員会				
(2)	美術・工芸作家の利用				
(3)	生涯学習的発表期間の利用	…	…	…	34
(4)	一般の利用	…	…	…	35
6-2	別館ホール	…	…	…	36
7.	管理・運営	…	…	…	37
7-1	組織と職員				
(1)	組織				
(2)	京都文化財団役員				
(3)	京都文化博物館職員	…	…	…	38
7-2	施設				
(1)	本館関係				
(2)	別館関係	…	…	…	39
7-3	ろうじ店舗	…	…	…	39
(1)	ろうじ店舗一覧				
(2)	別館店舗一覧				
8.	2007（平成19）年度のあゆみ	…	…	…	40

## 1. 2007（平成19）年度の主な活動

博物館の活性化については、平成16年8月に発足した「経営企画委員会」の助言を受けながら、この間真剣に取り組まれてきたが、中でも自立した運営を担保するための経営改善の課題は、早期に達成すべきものであった。例年、「常設展の入場者」、「特別展の入場者」、「貸展示室への入場者」及び「ろうじ店舗の利用者」の四つの要素の動向を、館の活動状況、経営状況を判断する指標として用いているが、平成19年度には、特別展の入場者の増大に牽引される形で、これらの総計が過去最大の数値（84万8千人）に達し、経営状況も大幅な改善を見ることになった。

また、博物館施設について、京都府との使用貸借契約が年度末に期間満了を迎えるのを機に、指定管理者制度に則った選定が行われることになったが、非公募の方式が採用され、京都府議会2月定例会において財団法人京都文化財団が施設活用団体として選定され、平成20年度から3年間、引き続き運営していくことになった。

今年度の自主企画展としては、4月13日から5月27日まで「丸紅コレクション 絵画と衣裳 美の名品～ボッティチェリ『美しきシモネッタ』・淀君の辻が花小袖～」展を開催した。日本を代表する総合商社・丸紅株式会社の所蔵する美術・工芸など幅広い分野の優れたコレクションの中から、時代衣裳などの染織分野の作品と、日本および西洋の絵画作品をあわせて約200点を展示。特にイタリア初期ルネサンスの巨匠ボッティチェリの『美しきシモネッタ』や淀君のものではないかと伝えられる小袖裂とこれをもとに復元された小袖は衆目を集めた。同展の入館者数は37,418人であった。

また、昨年度まで毎年開催していた「京都府美術工芸新鋭選抜展」を改め、公募部門と招待部門を設け、美術と工芸を隔年交互で開催するピエンナーレ形式にして、本年度は「京都府美術工芸新鋭展～2008京都工芸ピエンナーレ～」を開催した。

平成19年度特別展の総入場者は363,990人で、3年連続で30万人の壁を大きく越えることができた。一方、常設展の入館者数は46,374人であり、貸ギャラリーの入館者も含めた総入館者数は、623,063人である。

なお、1991年5月以来、埋蔵文化財調査の整理室や考古資料等の収蔵庫として利用してきた清水分室の入っていた建物（旧京都府立陶工高等技術専門学校、京都市東山区五条通西大谷前白糸町）が、京都府の方針を受けて新たな施設に変更されることになったため、6月29日～7月3日の5日間をかけて発掘調査



「丸紅コレクション 絵画と衣裳美の名品展」ちらし

資料（コンテナバット約 10,000 箱）と映画関係資料等の移転を行った。移転先は旧京都府京北庁舎（京都市右京区京北周山）の敷地内である。ここには今回の移転に先立って、京都府立ゼミナールハウスの敷地内に保管していた考古資料（コンテナバット約 4000 箱）も 2007 年 3 月に移しており、あわせて収蔵することになった。

2007(平成19)年度入館者一覧

年月	常設展			特別展			計			ギャラリー				総計
	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	計	作家	一般	別館	計	
2007.4	2,015	1,186	3,201	5,669	6,368	12,037	7,684	7,554	15,238	4,398	4,926	2,875	12,199	27,437
5	2,472	1,288	3,760	11,074	14,307	25,381	13,546	15,595	29,141	3,465	6,325	4,500	14,290	43,431
6	2,768	1,054	3,822	17,801	10,499	28,300	20,569	11,553	32,122	2,952	5,878	1,544	10,374	42,496
7	2,232	1,146	3,378	25,351	14,829	40,180	27,583	15,975	43,558	3,632	1,216	10,360	15,208	58,766
8	2,242	1,334	3,576	29,198	10,915	40,113	31,440	12,249	43,689	3,527	953	920	5,400	49,089
9	2,061	1,364	3,425	35,959	21,339	57,298	38,020	22,703	60,723	4,411	5,376	5,440	15,227	75,950
10	2,720	1,295	4,015	20,736	11,115	31,851	23,456	12,410	35,866	8,446	4,111	36,199	48,756	84,622
11	2,050	2,160	4,210	33,064	21,551	54,615	35,114	23,711	58,825	2,854	5,188	15,051	23,093	81,918
12	2,402	1,470	3,872	3,761	3,167	6,928	6,163	4,637	10,800	3,891	3,682	2,525	10,098	20,898
2008.1	2,030	1,728	3,758	8,143	4,755	12,898	10,173	6,483	16,656	2,190	7,800	3,393	13,383	30,039
2	2,247	1,728	3,975	21,909	14,765	36,674	24,156	16,493	40,649	1,361	6,410	4,611	12,382	53,031
3	3,372	2,010	5,382	11,169	6,546	17,715	14,541	8,556	23,097	3,855	4,669	23,765	32,289	55,386
年度計	28,611	17,763	46,374	223,834	140,156	363,990	252,445	157,919	410,364	44,982	56,534	111,183	212,699	623,063
1日平均 (309日)	93	57	150	724	454	1,178	817	511	1,328					2,016

## 2. 資料の収集・利用

当館の所管資料は、大きく二つに分かれる。一つを館資料、もう一つを管理資料と呼ぶ。館資料は、埋蔵文化財の発掘調査で出土した考古資料が中心で、他に若干の絵画資料や歴史資料など、限られた範囲のものである。一方、管理資料は、京都府立総合資料館所蔵資料のうち、当館が管理をする美術工芸、歴史民俗資料等の文化資料（博物館資料）をいう。これらの資料については、当館の設立以来、その収集、管理、展示

公開業務を総合資料館から委託されており、具体的には同館の収蔵庫で管理しながら、展示を京都文化博物館で行うとともに、収集・利用等についても、その業務を当館で行ってきている。

なお、2007（平成19）年度末での管理資料は51,258点、寄託資料が332点、一時保管資料が627点であった

### 2-1 資料の収集

#### (1) 受 贈

##### 管理資料

分 野	作 者	資 料 名	点 数
洋 画	大門清次	space	1
洋 画	芝田米三	よみがえる新世紀の序曲ほか	3
彫 刻	清水九兵衛	Corresponding Space II	1
人 形		古今雛一對、屏風一隻	1
日本画	三輪良平	佳日（御披露目）ほか	3
日本画	大角菜華	能楽図屏風	1

小計 6件 10点

#### (2) 寄 託

種 別	分 野	件 点 数	分 野	件 点 数	分 野	件 点 数	分 野	件 点 数	分 野	件 点 数	小 計
館 資 料	日本画	3件 3点	古文書	24件 26点	典 籍	20件 233点	絵 図	18件 20点	複製模本	1件 1点	156件 795点
	貴重遺物	83件 501点	一般遺物	2件 6点	複製模型	3件 3点	参考資料	1件 1点	歴 史	1件 1点	
管理資料	日本画	5件 15点	陶 器	1件 89点	民 俗	3件 221点	武 具	1件 4点	染 織	1件 1点	12件 332点
	歴 史	1件 2点									

### 2-2 資料の利用

#### (1) 貸 与

##### ①館資料

分 野	資 料 名	点 数	申 請 者	使用目的（展覧会名）
考 古	西賀茂瓦窯出土軒瓦	2	吹田市立博物館	常設展示
考 古	西賀茂瓦窯出土軒瓦	2	向日市文化資料館	常設展示
考 古	平安京左京八条三坊二町刀装具鋳型など	31	福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館	特別展「技～出土遺物に見る中世手芸の世界」
	平安京左京六条三坊七町出土鏡鋳型	9		
考 古	平安宮出土緑釉軒瓦	2	国立歴史民俗博物館 企画展「長岡京遷都」	
	内裏内郭回廊出土軒瓦	4		
考 古	青森県石亀遺跡出土石器	2	兵庫陶芸美術館 特別展「縄文～いにしへの造形と意匠～」	※平成20年6月まで

## ②管理資料

分野	資料名	点数	申請者	使用目(展覧会名)
日本画 ・染織 歴史	金島桂華「大威徳明王」ほか 青木官政「七卿落図屏風」	3 1	宮城県美術館／広島県立美術館 ／富山県立近代美術館 霊山歴史館	「日展 100年」展 「桂小五郎と幾松」展
日本画	狩野永俊「楼閣山水図」ほか	18	奈良県立美術館	「江戸時代 上方絵画の底から」展
日本画	秋野不矩「初冬」ほか	2	滋賀県立近代美術館	「～松園・遊亀・不矩～松園賞・文化勲章受章の女流日本画家たち」展
金工・陶芸	加藤宗巖「純銀白孔雀香炉」ほか	2	迎賓館京都事務所	京都迎賓館しつらいのため
日本画	麻田辨自「梅の尾」ほか	2	南丹市教育委員会、南丹市立文化博物館	「ふるさとの画家 麻田辨自」展
日本画	幸野榊嶺「妓女図」	1	松柏美術館	「松園が学んだ三人の師」展
日本画	三橋節子「余呉の天女」	1	兵庫県立美術館／松本市美術館 ／富山県水墨美術館	「見果てぬ夢ー日本近代画家の絶筆」展
日本画	宇田萩邨「鴨川の夕立」ほか	6	茨城県近代美術館	「水のかたち」展
歴史	坂本龍馬書簡集	1	高知県立歴史民俗資料館	「坂本龍馬・中岡慎太郎」展
日本画	伝・原在中「白絵屏風」	1	サントリー美術館／大阪市立美術館 ／日本経済新聞社	「BIOMBO／屏風 日本の美」展
金工・陶芸	小林尚 「鉄象嵌香炉」ほか	2	迎賓館京都事務所	京都迎賓館しつらいのため
日本画	川島睦郎「黄昏」ほか	3	京都府府民労働部文化芸術室	京都府庁内展示のため
日本画	三島上龍「灯籠美人図」	1	福島県立美術館	「上村松園 近代と伝統」展
日本画	小野竹喬「鴨川夜景」ほか	2	京都府立堂本印象美術館	「KYOTO きぬがさ絵描き村ー印象・平八郎・神泉・竹喬・華揚ー」展
陶芸	青木木米「白磁木瓜形水注」ほか	3	愛知県陶磁資料館	「煎茶陶芸の美と伝統ー人間国宝三代山田常山への道ー」展
陶芸	「古清水色絵筭形掛花生」ほか	7	出雲文化伝承館	「出雲焼と京焼の名品展」
陶芸	森野嘉光「緑釉窯変『青・黒・赤』花瓶」	1	迎賓館京都事務所	京都迎賓館しつらいのため
染織	綴織額「紫陽花牡丹に流水」ほか	2	京都府出納管理局府有資産活用課	京都府庁旧本館内での展示のため
郷土玩具	京都のコマほか	11	京都府立図書館	閲覧室内展示「正月の遊び」
日本画	狩野永敬「十二月月歌意図屏風」	1	株式会社 NHK プロモーション	「乾山の芸術と光琳」展
金工・陶芸 ・漆芸	小林尚 「鉄象嵌香炉」ほか	3	迎賓館京都事務所	京都迎賓館しつらいのため
金工・陶芸 ・漆芸	小林尚 「鉄象嵌香炉」ほか	3	迎賓館京都事務所	京都迎賓館しつらいのため
陶芸	七代錦光山宗兵衛 「色絵婦子図三足香炉」	1	京都国立博物館	「憧れのヨーロッパ陶磁ーマイセン・セーブル・ミントンとの出会いー」
陶芸・漆芸	森野嘉光「緑釉窯変『青・黒・赤』花瓶」ほか	2	迎賓館京都事務所	京都迎賓館しつらいのため
日本画	紀樺亭「秋声図」ほか	7	大津市歴史博物館	「樺亭・金谷 近江蕪村と呼ばれた画家」
金工・陶芸	六代清水六兵衛作「三彩緑 四方花瓶」	1	迎賓館京都事務所	京都迎賓館しつらいのため
染織	「紅板締」（締枠・押さえ板）	1	島根県立古代出雲歴史博物館	「よみがえる幻の染色ー出雲藍板締めの世界とその系譜」展
陶芸	加藤宗巖「白孔雀香炉」ほか	3	迎賓館京都事務所	京都迎賓館しつらいのため
日本画	三輪晁勢「木屋町」ほか	6	奈良県立万葉文化館	「三輪晁勢・晁久 日本画二人画」展
人形	端和子「罌」ほか	3	京都府府民労働部文化芸術室	京都府庁内展示のため
陶芸・染織	「古清水椿若松絵茶碗」	17	八幡市立松花堂美術館	「名工の『竹』『椿』の意匠」展
染織	河鍋暁斎「処刑場跡描画羽織」	1	京都国立博物館	「没後百二十年 河鍋暁斎」展
日本画	織田瑟々「八重桜図」ほか	2	名古屋城特別展準備委員会	「城の春 さくらの美術」展
日本画	広田多津「おしろい」	1	神戸新聞社地域活動局／茨城県天心記念館五浦美術館	「近代日本画にみる麗しき女性たち」展
				合計 35件 122点

## (2) その他

	撮影	特別観覧	寄託資料一時持ち出し					
			分野	資料名	点数	申請者	使用目的	計
館資料	0	1件	考古	デンマーク石器コレクション	21	古代学協会	研究	1件 21点
管理資料	37件 61点	12件 169点	歴史	御唐櫃ほか	82	四條町大船辨保存会	展示	1件 82点
			歴史	緋緘小札大鎧ほか	4	鞍馬火祭保存会	祭礼	1件 4点

### 3. 展示活動

#### 3-1 常設展示

##### (1) 歴史展示

歴史の常設展示は、大きく二つの部分に分けられる。一つは京都の町の歴史の概観的な展示で、平安京以前の京都盆地の姿を示すプロローグに始まり、平安京の誕生から明治・大正までを四つのテーマに分けて展開する。

いま一つは、ある時間的な幅のなかでは位置づけることのできない文化事象から、町衆によって育まれてきた京都文化を代表する四つのテーマを選んで展示する集中展示であり、あわせてそれらが繰り広げられた場としての京都を絵画資料に見るものである。

この歴史の常設展示は、模型や映像・図表を中心に説明的に展開することを原則としているため、実物資料が大変少ない展示となっており、時折不満の声も聞かれた。その欠を補うという意図もあって、2001年度から歴史展示室の北端に展示ケースを新設して、新たに「特別陳列コーナー」を設けた。ここでは、一定のテーマを設定し、ふさわしい資料を主として館蔵資料と寄託資料の中から選んで展示している。

「特別陳列コーナー」の設置に伴い、スペースの都合上、「国際都市京都」のコーナーと「歴史情報サービス」とは廃止した。それ以外の展示は基本的には大きな変化はないので、ここでは展示替えに関するデータのみを記す。概観展示ならびに集中展示の詳細については『京都文化博物館 10年のあゆみ』（1999年）を参照されたい。

##### ① 特別陳列コーナー

###### ◇ 狩野益信筆 洛中洛外図屏風

概要：狩野探幽の弟子である狩野益信が描いた淡彩の洛中洛外図屏風を紹介した。筆墨を主にし、淡い朱を混じえて粗略な感じに描いた屏風で、右隻には誓願寺から清水寺、左隻には八幡から大徳寺までを描いている。

期間：2007年4月17日～5月13日

作品：狩野益信筆 洛中洛外図屏風

担当：横山和弘

###### ◇ 「鳥瞰図絵師・吉田初三郎の名所案内図」

概要：「大正の広重」と呼ばれ、独特の描法で人

気を博した初三郎の鳥瞰図を、京都関係の案内図や関東大震災の状況を表す図などを紹介。

期間：2007年5月15日～6月17日

作品：「近畿を中心とする名勝交通鳥瞰図」「関東震災全地域鳥瞰図絵」など15点

担当：植山 茂

###### ◇ 「祇園祭菊水鉾巡行模型」

概要：人形師、故岡本正太郎氏が主催した「ひこばえ会」による作品。菊水鉾とその囃子方や曳き手など66体の人形で、巡行の様子を再現する。

期間：2007年6月19日～7月29日

作品：菊水鉾巡行模型一式（1970年製作）

担当：植山 茂

###### ◇ 「近代輸出工芸の華 京七宝」

概要：京都三条白川にあった稲葉七宝から京都府へ寄附された七宝および各種博覧会等への出品を窺わせる歴史的資料を展示した。

期間：2007年7月31日～11月4日

作品：七宝写真立、磁胎有線七宝花瓶、百寿文硯箱、京七宝工程見本、パリ万国博覧賞など約50点

担当：洲鎌佐智子

###### ◇ 「誓願寺門前図屏風を『読む』」

概要：館蔵品「誓願寺門前図屏風」の実物とともに、近年の研究成果をもとに、解説パネルにより「読む」展示を試みた。

期間：2007年11月6日～12月16日

作品：誓願寺門前図屏風

担当：市川 彰

###### ◇ 「平安宮の鬼瓦と鴟尾」

概要：平安宮跡の発掘調査資料から、壮大な宮殿建物を偲ばせる大型の鬼瓦と鳳凰のレリーフのある緑釉鴟尾片を展示。

期 間：2007年12月18日～2008年4月20日  
 作 品：平安宮跡出土鬼瓦5点・鴟尾50点、西賀茂

瓦窯跡出土鬼瓦3点・鴟尾6点  
 担 当：植山 茂

②展示替え（概観展示・集中展示）

展示テーマ	展示項目	資 料 名	点数	展示期間
武者の世に	京に集う	茶器一式（出土品）	8	2003. 6.17～
京洛四季	京の商い	煙草入屋看板・生掛屋看板・売薬手提箱五合榭・一升榭・糸秤（*）	6	2006.10.19～2007. 4.17
		看板・暖簾・算盤箱・一斗榭・天秤（*）	5	2007. 4.19～2007.10.14
		看板（2点）・売薬手提箱・五合榭・一升榭・糸秤（*）	6	2007.10.16～2008. 4.16
古都飛翔	明治の洋食器	松絵金彩水差・松絵金彩大鉢（幹山伝七作）／色絵母子図三足香炉（七代錦光山宗兵衛作）／色絵金彩唐人三足香炉（九代帯山與兵衛作）（*）	4	2006.12.18～2007. 4.15
		染付草花模様蓋付スープ皿・染付草花模様小水差・染付草花模様蓋付肉皿・染付草花模様薬味入れ・染付草花模様砂糖入・染付草花模様台付盛皿（以上 幹山伝七作）／染付草花模様紅茶碗（三代清風与平作）（*）	9	2007. 4.17～2007. 7. 8
		染付草花模様蓋付水鉢・染付草花模様蓋付鉢・染付草花模様台付盛皿（以上幹山伝七作）／染付草花模様ソース鉢・染付ブドウ酒呑（以上、和気亀亭作）／染付草花模様皿（四代高橋道八作）（*）	10	2007. 7.10～2007.10.14
		染付草花模様蓋付スープ鉢・染付草花模様小水差・染付草花模様蓋付肉皿・染付草花模様砂糖入（以上、幹山伝七作）／染付四季花卉模様スープ皿（三代清水六兵衛作）／染付草花模様ソース鉢（和気亀亭作）／染付草花模様紅茶碗（三代清風与平作）（*）	8	2007.10.16～2008. 1.15
		染付草花模様蓋付スープ鉢・染付草花模様蓋付鉢・染付草花模様台付盛皿（以上、幹山伝七作）／染付四季花卉模様スープ皿（三代清水六兵衛）／染付草花模様蓋付平鉢（三代清風与平作）／染付葡萄酒呑（和気亀亭作）（*）	12	2008. 1.17～2008. 4.16
宗家の地	宗家の地	香道一香炉・香道具・競馬香道具・十種香之記・図書「十種香」（*）	5	2007. 3.20～2007. 6.17
		和歌の家一冷泉家七夕色紙・藤原氏系図・角壺（**/*）	3	2007. 6.19～2007. 9.17
		琵琶の家一琵琶・源氏物語絵巻（複製）（**/*）	3	2007. 9.19～2007.12.16
		蹴鞠の家一蹴鞠他（3点）・関係写本（3件）（*/**）	6	2007.12.18～2008. 3.16
集中展示	能と狂言	香道一香炉・香道具・競馬香道具・十種香之記・図書「十種香」（*）	5	2008. 3.18～2008. 6.18
		鞆鼓・納戸地花橘文鬘帶・紅地蓼文鬘帶・鱗文腰帶・胴箔地紫陽花文腰帶（協力：金剛家）	5	2007. 3.20～2007. 6.17
		狂言面一福の神・賢徳・祖父（協力：茂山家）	3	2007. 6.19～2007. 9.17
		金地夕顔老女扇・納戸地秋草文鬘帶・赤地雛に撫子文鬘帶・悪狐輪冠（協力：金剛家）	4	2007. 9.19～2007.12. 1
		狂言面一福の神・武悪・乙（協力：茂山家）	3	2007.12.18～2008. 3.16
	匠の世界	天人揃葛扇・紺地蝶丸文鬘帶・柳に松竹梅文鬘帶・白地山吹文腰帶・花丸文腰帶（協力：金剛家）	5	2008. 3.18～2008. 6.16
		文化財を護る（協力：大同）	一式	2007. 1.16～2007. 6. 3
	京のまつり	新・校倉造り（協力：木澤工務店）	一式	2007. 6. 5～2008. 4.20
		祇園祭月鉦模型、扇（*）	2	2007. 3.20～2007. 6.17
祇園祭長刀鉦模型（**）		1	2007. 6.19～2007. 9.17	
牛祭 紙面（*/**）		8	2007. 9.19～2007.12.16	
	祇園祭長刀鉦模型（**）	1	2007.12.18～2008. 3.30	

※（）内の\*印の資料は京都府立総合資料館蔵（京都府京都文化博物館管理）、\*\*印の資料は当館蔵



(2) 美術・工芸展示

◇京都の美術・工芸展 京都府コレクション・収集と修復の成果

概要：京都府で、おおむね過去4年間に新たに収集された美術・工芸品。および収蔵作品のうち劣化がみられるもので補修・修繕をほどこした作品を展示。

期 間：2007年12月11日(火)

～2008年1月14日(月・祝)

作 品：日本画・洋画・彫刻・書・染織・陶芸・漆芸・人形 69点

分野	作品名	作家名	制作年	分野	作品名	作家名	制作年
日本画	蓮	小松 均	昭和16年	彫刻	しりもち尻図	藪内 弘	昭和61年
日本画	小さな律	清水 正志	平成15年	彫刻	風の序曲	〃	平成4年
日本画	月と太陽	西嶋 豊彦	平成16年	書	椿四題	島田 雨城	平成3年
日本画	秋色草花譜	橋田 二郎	平成11年	染織	黒縮緬地春草花文様掻取		江戸時代後期
日本画	白い秋	〃	平成13年	染織	納戸羽二重地松に網干文様小袖		江戸時代後期
日本画	遊淪追啄	福田 翠光	昭和7年	染織	鼠縮緬地波に千鳥文様振袖		江戸時代末期
日本画	養老瀑布	〃	昭和24年	染織	刺繍掛軸「牡丹図」	碓井 清輝	明治42年
日本画	緑吹くころ	本多 功身	平成6年	染織	黒縮緬地松に鳳凰文様振袖		昭和5年
日本画	窓の風景	山本 知克	昭和41年	染織	黒縮緬地飛鶴に御所風文様留袖		昭和5年
日本画	菖蒲美人図	祇園 井特	江戸時代	陶芸	古清水碁盤形水注		江戸時代
日本画	児雷也図	春梅斎北英	江戸時代	陶芸	黒陶 門	川上 力三	平成13年
日本画	富岳図	月岡 雪鼎	江戸時代	陶芸	鉄耀白流扁壺	清水 卯一	昭和62年
日本画	衣通姫図	〃	天明5年	陶芸	蓬萊掛分扁壺「雪」	〃	平成8年頃
日本画	雪中群雀	榊原 雨邨	昭和時代	陶芸	蓬萊波扁壺	〃	平成12年頃
日本画	竹に狸	〃	昭和時代	陶芸	蓬萊風壺	〃	平成14年
日本画	山水図	谷口 靄山	明治21年	陶芸	色絵夏椿文扁壺	竹中 浩	平成13年
日本画	菫摘み	窠本 一洋	大正4年頃	陶芸	白磁面取大壺	〃	平成15年
日本画	湖畔晴日	〃	昭和17年	陶芸	鷹置物	林 沐雨	昭和40～50年頃
日本画	秋	〃	昭和23年	陶芸	群雀置物	〃	昭和40～50年頃
洋画	メンデルスゾーンよりセシルに捧げる	芝田 米三	平成12年	陶芸	青白磁入れ子蓋物	八木 明	平成14年
洋画	よみがえる新世紀の序曲	〃	平成15年	陶芸	旭焼釉下彩紅葉に鳥図陶板	ゴットフリート・ワグネル	明治20年代
洋画	或る風色の残像 96-7	中原 史雄	平成8年	陶芸	新按形状(本金部)図案帳	錦光山窯	大正～昭和初期
洋画	帽子その他	伊藤久三郎	昭和7年	漆芸	parts of future in my life	中西 宏明	平成9年
洋画	迎り行く径	〃	昭和11年	漆芸			平成11年
洋画	山	〃	昭和14年	人形	御所人形・菊寿	新井 喜世	昭和50年頃
洋画	村	〃	昭和15年	人形	御所人形・でんでん太鼓	面屋 庄三	昭和初期
洋画	寂	齋藤 真成	平成15年	人形	縮緬細工五月人形飾り	吉本 貞子	昭和11年
洋画	茶色の中のかたち	〃	平成16年	人形	御所人形・鯛持ち		江戸末期
洋画	地蔵界	〃	平成16年	人形	御所人形・鴛鴦持ち		江戸末期
洋画	ある風景	〃	平成17年	人形	武者人形		江戸末～明治
洋画	IRO TOKIDOKI シリーズ 私風景 5つのbouy	中野 庸二	平成14年	人形	〃		明治初期
洋画	ミュゼロダンの庭	吉村 勲	平成4年	人形	五月人形(豊臣秀吉)		明治18年
洋画	真夏の夜の夢	〃	平成10年	人形	五月人形(加藤清正)		明治18年
彫刻	Corresponding Space II	清水九兵衛	平成8年	人形	五月人形(片桐且元)		明治18年
彫刻	石駄カランコロン	藪内 弘	昭和56年				

◇ 京都の美術・工芸展 静かなる情感

概要：京都府で複数の作品を所蔵する代表的なコレクションから、向井潤吉（洋画）、三橋節子・三谷十糸子（日本画）、藤平伸（陶芸）、三浦景生（染織）、西村喜代（人形

の作品を展示。

期間：2008年1月16日(水)～2月24日(日)

作品：日本画・洋画・染織・陶芸・人形74点

分野	作品名	作家名	制作年	分野	作品名	作家名	制作年
日本画	野草	三橋 節子	昭和42年	染織	れんこんとかりふらわー	三浦 景生	平成7年
日本画	とわの土	〃	昭和44年	陶芸	鳥の壺	藤平 伸	昭和40～50年頃
日本画	裏山の収穫	〃	昭和46年	陶芸	花器	〃	昭和47年
日本画	湖の伝説	〃	昭和47年	陶芸	五緯連望	〃	昭和59年
日本画	陶器登り窯	〃	昭和48年	陶芸	器	〃	昭和59年
日本画	余呉の天女	〃	昭和49年	陶芸	星月夜	〃	昭和62年
日本画	露店	三谷十糸子	昭和6年	陶芸	花器	〃	平成2年
日本画	おとめたち	〃	昭和6年	陶芸	呉須花瓶	〃	平成2年
日本画	女	〃	昭和9年	陶芸	二人からくり	〃	平成2年
日本画	猫と娘	〃	昭和22年	陶芸	阿修羅	〃	平成5年
日本画	女人	〃	昭和33年	陶芸	青緘	〃	平成5年
日本画	霧の夜	〃	昭和39年	陶芸	天鼓	〃	平成7年
日本画	春浅く	〃	昭和58年	陶芸	飾篋 蔵	〃	平成8年
日本画	花曇り	〃	昭和59年	陶芸	銀の把手のある皿	〃	平成9年
日本画	暮れゆく	〃	昭和61年	陶芸	白い篋	〃	平成9年
日本画	想	〃	平成1年	陶芸	彌生	〃	平成9年
洋画	またぎの家	向井 潤吉	昭和38年	陶芸	相	〃	平成11年
洋画	奥多摩春景	〃	昭和38年	陶芸	慈門Ⅱ	〃	平成13年
洋画	中山道番場宿	〃	昭和39年	人形	麦	西村 喜代	昭和38年
洋画	山河春雪	〃	昭和41年	人形	夏	〃	昭和39年
洋画	段丘と湖	〃	昭和42年	人形	陽だまり	〃	昭和41年
洋画	岩倉残秋	〃	昭和42年	人形	跳ぶ	〃	昭和41年
洋画	根来寺界限	〃	昭和43年	人形	洋	〃	昭和47年
洋画	春雪のあと	〃	昭和44年	人形	土の鈴	〃	昭和47年
洋画	八ヶ岳快晴	〃	昭和44年	人形	対話	〃	昭和53年
洋画	下山雪後	〃	昭和44年	人形	鳩笛	〃	昭和59年
洋画	筑後柳川の春	〃	昭和44年	人形	朝市にて	〃	昭和60年
洋画	知覧の裏小路	〃	昭和44年	人形	柿の秋	〃	昭和61年
洋画	洛北暮雪	〃	昭和45年	人形	雪国の朝	〃	平成2年
洋画	白毫寺の辻	〃	昭和46年	人形	陽光	〃	平成4年
洋画	丹波路好秋	〃	昭和48年	人形	玉兎	〃	平成4年
染織	けし	三浦 景生	昭和40年	人形	立つ	〃	平成7年
染織	牡丹	〃	昭和48年	人形	邯鄲の夢	〃	平成8年
染織	染屏風「はばたん譜」	〃	昭和49年	人形	道	〃	平成12年
染織	葡萄の囀	〃	昭和52年	人形	包む	〃	平成14年
染織	かりふらわーとうど	〃	昭和58年	人形	相聞	〃	平成15年
染織	つちしょうがとたまねぎ	〃	昭和61年	人形	空の青海のあを	〃	平成17年
染織	花菖蒲皇の虹	〃	昭和63年	人形	汀	〃	平成18年

◇京都の美術・工芸展 春のコレクション展・池大雅  
と雛人形

概要：桃の節句にあわせて毎年恒例となっている  
雛人形と、池大雅美術館から京都府に寄贈

された大雅作品を展示。

期間：2008年2月27日(水)～4月13日(日)  
作品：日本画・人形47点

分野	作品名	作家名	制作年	分野	作品名	作家名	制作年
日本画	柳下童子図屏風	池大雅	江戸時代	人形	立雛		江戸時代後期
日本画	高士訪隠図屏風		寛延3年	人形	元禄雛		江戸時代中期
日本画	寿老人図		江戸時代	人形	享保雛		江戸時代中期
日本画	寒山拾得図		江戸時代	人形	享保雛		江戸時代中期
日本画	王羲之書扇図		江戸時代	人形	有職雛		江戸時代後期
日本画	観世音像		江戸時代	人形	有職雛		江戸時代後期
日本画	墨竹図		江戸時代	人形	有職雛		江戸時代後期
日本画	墨菊図		江戸時代	人形	有職雛		江戸時代後期
日本画	巫峡山水図		江戸時代	人形	次郎左衛門雛		江戸時代後期
日本画	芝草之詩		江戸時代	人形	古今雛		安政5年
日本画	般若心経		江戸時代	人形	古今雛		文政6年
人形	一文雛飾り		江戸時代後期	人形	古今雛		江戸時代後期
人形	内裏雛飾り		明治32年	人形	古今雛		江戸時代後期
人形	古今雛飾り		明治29年	人形	古今雛		慶応2年
人形	雛人形段飾り		大正時代	人形	古今雛		江戸時代後期
人形	古今雛	明治時代	人形	古今雛	江戸時代後期		
人形	陶器雛	明治時代	人形	古今雛	天保10年		
人形	御殿雛飾り	大正時代	人形	立雛	明治時代		
人形	立雛	江戸時代後期	人形	立雛	江戸時代後期		
人形	立雛	江戸時代後期	人形	瓢雛	明治時代		
人形	立雛	江戸時代後期	人形	縫い立雛	明治時代		
人形	立雛	江戸時代後期	人形	御立雛	中田世津 岡本正太郎	昭和52年	
人形	立雛	江戸時代後期	人形	立雛		昭和45年	

(3) その他館内展示物

① 1階

- a. 本館
  - ・「紫式部像」(1階エレベーターホール)
  - ・清水九兵衛「朱装」(1階正面玄関横：屋外)
  - ・はぎとり土層(地下図書閲覧室への階段壁面)
- b. 別館
  - ・礎石(中庭通路脇)

・礎盤(中庭通路脇)

② 2階

・梅原龍三郎「富士山の図」

③ 7階

・大甕

\*詳細については『京都文化博物館10年のあゆみ』(1999年)を参照されたい。

## 3-2 特別展示

### (1) 自主企画展

#### ◇丸紅コレクション 絵画と衣裳 美の名品展

##### ～ポッティチェリ「美しきシモネッタ」・淀君の 辻が花小袖～

会 期：2007年4月13日～5月27日（39日間）

休館日：月曜日

会 場：4階特別展示室、3階美術工芸展示室

入場料：一般1,200円 大高生800円  
          中小生500円

主 催：丸紅コレクション展実行委員会、京都府、

京都文化博物館、産経新聞社、京都新聞社

後 援：京都市、京都府教育委員会、京都市教育委

員会、京都商工会議所、京都府観光連盟

京都市観光協会、歴史街道推進協議会、サ

ンケイスポーツ、夕刊フジ、フジサンケイ

ビジネスアイ、サンケイリビング新聞社、

関西テレビ放送、KBS京都、ラジオ大阪

エフエム京都

特別協力：丸紅株式会社 京都丸紅株式会社

担当者：長舟洋司、藤本恵子

概 要：日本を代表する総合商社・丸紅株式会社には、およそ1,100点にもものぼる美術・工芸品が所蔵されている。日本屈指の企業コレクションだが、通常は公開されていないため、一般にはほとんど知られていない。本展覧会では、その数多い蒐集品の中から、絵画と染織品200点を精選して公開した。



「美の名品展」美しきシモネッタ前

ポッティチェリやコロー、ルノワールなど西洋絵画の名品、梅原龍三郎や小磯良平など日本の近代洋画の珠玉の作品、加えて、「淀君の小袖裂」をはじめとする桃山から近世、近代から現代へと至る時代のモードを一望できる染織品など、数々の貴重な作品を出品した。

作 品：〔衣裳〕

「島取に柳文様小袖裂（淀君の辻が花小袖裂）」、「源氏物語に海辺文様小袖」、「曳舟文様小袖」ほか

〔図案〕

竹内栖鳳「磯つづれ」、伊東深水「秋晴れ」ほか

〔西洋絵画〕

サンドロ・ポッティチェリ「美しきシモネッタ」、ジャン＝パティスト＝カミーユ・コロー「ヴィル・ダプレーのあずまや」、ピエール＝オーギュスト・ルノワール「エスタックのオリーブ畑」ほか

〔日本の絵画〕

藤島武二「浜辺」、梅原龍三郎「桜島」、小磯良平「横向裸婦」ほか

計211点。

入場者：37,418人（1日平均959人）

講演会：別館ホール

・4月14日 午後2時～3時30分

杉浦 勉氏（丸紅株式会社アートキュレーター・元パリ日本文化会館事業部長）

「『美しきシモネッタの肖像』～その美に隠された秘密に迫る～」

・5月3日 午後2時～3時30分

岡田温司氏（京都大学大学院教授）

「ポッティチェリとルネッサンスの女性肖像画」

・5月13日 午後2時～3時30分

河上繁樹氏（関西学院大学教授）

「淀君の小袖 桃山時代の女性ファッション」

## (2) 共催展等

### ◇プリンセスの輝き ティアラ展

～栄華なるジュエリーの世界～

会 期：2007年6月9日～7月22日（39日間）  
休館日：毎週月曜日、ただし7月17日（火）は臨時開館

入場料：一般1300円、大高生900円、  
小中生600円

主 催：京都府、京都文化博物館、読売テレビ、読売新聞大阪本社

後 援：プリティッシュ・カウンシル、フランス大使館、スペイン大使館、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都商工会議所、京都府観光連盟、京都市観光協会、歴史街道推進協議会

担当者：畑 智子、植山茂

概 要：ティアラとは、宝石などを散りばめた冠状の髪飾りのこと。ジュエリーの中で最もステイタスの高いものとして、これまで社会の最上層の女性たちが身につけてきた。それは地位や富の象徴であると同時に政治的、文化的な歴史とも密接に結びついていた。古代ギリシャにおいてティアラは神性を表すものだったが、18世紀の上流社会で



「ティアラ展」作品点検風景

ジュエリーとして復活。ナポレオンにも愛されて権力の象徴となり、宮廷などの公式の場で女性たちが着用するようになった。本展では、19世紀から20世紀のティアラ約100点を展示。

作 品：ホワイトハウス夫人の勝利のティアラ、マルゲリータ王妃のティアラ、ルネ・ラリック作ドラゴンフライ・ティアラ、ブルガリ作ティアラ、グレース・ケリー モナコ公妃着用のティアラ、カルティエ工作ドリス・デュークのバンドー、ショーメ作ペアのハミングバードのエイグレット／ブローチなど約100点

入場者：68,480人（1日平均1,756人）

記念特別映画上映：3F映像ホール

「ロバと王女」6月14日、16日

午後1：30～、5：00～の2回

「ベルサイユのばら」6月15日、17日

午後1：30～、5：00～の2回

### ◇世界遺産 ナスカ展～地上絵の創造者たち～

会 期：2007年8月4日（土）～9月24日（月・祝）  
（44日間）

休館日：毎週月曜日、ただし9月17日（月・祝）は開館。

会 場：4階・3階展示室

入場料：一 般1,300円（1,100円）

大高生 900円（700円）

中小生 500円（400円）

主 催：京都府、京都文化博物館、毎日新聞社、毎日放送、京都新聞社

後 援：外務省、ペルー共和国大使館、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都商工会議所、京都府観光連盟、京都市観光



「ティアラ展」ちらし

協会、歴史街道推進協議会、NHK 京都放送局、KBS 京都、エフエム京都

担当者：南博史・横山和弘

概要：ペルー共和国の南海岸地方のインヘニオ大地に広がるナスカの地上絵。最近の調査で、その時期は紀元前後から紀元後7世紀に描かれたものであることがわかってきました。また、これらを描いたナスカ人の文化についてもその様子が明らかになってきています。この展覧会では、最新の研究成果に基づき、ナスカ文化を代表する多彩色の土器、織物、装飾品、ミイラなどによって、地上絵を描いた人々の実態に迫りました。

作品：120点（土器・石器88点、装飾品15点、染織品10点、頭骨5点、ミイラ2体）

入場者：97,411人（1日平均2,165人）

VRコーナー：バーチャルで飛ぶ！ナスカの地上絵幅10mの巨大スクリーンで体験するナスカ遊覧飛行

記念講演会と座談会「南米古代アンデス文明とナスカ」：別館ホール

・8月11日（土）午後1時半～3時半

講演／藤井龍彦氏

（国立民族学博物館名誉教授）

発表／馬瀬智光氏

（京都市文化財保護課文化財保護技師）

座談会／藤井・馬瀬・南博史（本展担当）

参加者／150人

記念コンサート：別館ホール

・9月1日（土）午後6時半～8時

瀬木貴将 アンデスの風～サンポーニャとケーナ

参加者／180人

ふんぱく子ども教室：展示室・別館ホール、および京都市立高倉小学校、室町小学校校庭  
京のまちなかに地上絵が出現～子どもたちが創造者

・8月6日（月）午前10時半～12時 展覧

会見学・体験授業（展示室・別館ホール）

・8月7日（火）午前9時～11時

地上絵を描く

（京都市立高倉小学校、室町小学校校庭）

企画・監修／京都市算数教育研究会会長倉中増夫（京都市立室町小学校校長）、ボランティア集団「寺子

屋『スロー数学』代表西脇久芳

協力／寺子屋『スロー数学』・京都市立高倉・室町小学校、京都市算数教育研究会、サントリー

参加者／6日110人、7日120人

#### ◇トルコ・イスタンブール歴史紀行 トプカプ宮殿の至宝展～オスマン帝国と時代を彩った女性たち～

会期：2007年10月6日（土）

～12月2日（日）（51日間）

休館日：毎週月曜日

会場：4階特別展示室、3階美術工芸常設展示室

入場料：一般1,300円 大高生900円

中小生600円

主催：京都府、京都文化博物館、朝日新聞社、朝日放送、東映

後援：外務省、文化庁、トルコ共和国大使館、中近東文化センター、日本・トルコ協会、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都商工会議所、京都府観光連盟、京都市観光協会、歴史街道推進協議会、NHK 京都放送局、KBS 京都、エフエム京都



「トプカプ宮殿の至宝展」会場風景



「トプカプ宮殿の至宝展」オリエンタルダンス公演風景

担当者：植山茂

概要：オスマン帝国は13世紀末から20世紀初頭まで約600年におよぶ歴史をもち、16世紀にはアジア・アフリカ・ヨーロッパにまたがる大帝國として繁栄した。その帝國に君臨したスルタンたちの居城、トプカプ宮殿には代々の統治者が収集した夥しい数の美術コレクションが伝えられ、現在は世界でも有数の博物館となっている。本展では、トルコ共和国政府の全面協力のもと、トプカプ宮殿博物館所蔵品を中心とする約140点の優品を通して、オスマン帝國の歴史と絢爛豪華な宮廷文化を紹介。また、秋篠宮家の親王ご誕生を祝い、オスマン帝國の王子誕生祝賀の故事に因んで「金のゆりかご」が特別に出品された。

作品：特別出品「金のゆりかご」を含み、「ターバン飾り」「水晶製薔薇水入れ」など、トプカプ宮殿博物館とトルコ・イスラム美術博物館所蔵品の約140点

入場者：93,394人（1日平均 1,831人）

講演会：3階映像ホール

・10月20日（土）午前11時～12時30分  
ヤマンラール水野美奈子氏

（龍谷大学国際文化学部教授）

「トプカプ宮殿の美—オスマン美術とハレムの女性文化」

参加者／86人

コンサート：別館ホール

・11月9日（金）午後6時30分～8時  
「トルコ音楽とオリエンタルダンス」

出演／Kadife

参加者／199人

#### ◇川端康成と東山魁夷～響きあう美の世界～

会期：2008年1月16日～2月24日（35日間）

休館日：月曜日

入場料：一般1,000円 大高生700円

中小生400円

主催：京都府、京都文化博物館、毎日放送、毎日新聞社

後援：京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都商工会、京都府観光連盟、京都市観光協会、歴史街道推進協議会、NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都



「川端康成と東山魁夷展」会場入口周辺風景

監修：川端香男里、平山三男、東山すみ

担当者：長舟洋司、市川 彰

概要：ノーベル文学賞受賞作家・川端康成が、現代を代表する日本画家・東山魁夷と親しく交流したことはこれまでも知られていましたが、近年、康成と魁夷との間に交わされた書簡がまとめて発見され、あらためて注目されました。そこには、魁夷の作品や康成が収集した美術品をめぐる二人の芸術家の魂の交流をうかがうことができます。

本展では、往復書簡や折々に記された康成と魁夷の言葉をガイドにして、魁夷の作品の数々を見つめ直すとともに、川端康成記念会が保管するコレクションから著名な3点の国宝や新発見の作品など、康成が所蔵していた美術品をあわせて展示しました。

作品：東山魁夷「冬華」「月篋」（東京国立近代美術館）、「北山初雪」（川端康成記念会）、「年暮る」（山種美術館）、浦上玉堂「凍雲篩雪図」、池大雅・与謝蕪村「十便十宜図」（川端康成記念会）など約110点

入場者：49,572人（1日平均1,416人）

対談：別館ホール

・2月3日（日）午後2時～3時半

「川端康成と東山魁夷 魂の交流」

お話し／川端香男里氏（財団法人川端康成記念会理事長、東京大学名誉教授）

聞き手／水原園博氏（毎日放送シニア・プロデューサー、川端康成記念館評議員）

参加者／153人

## ◇「乾山の芸術と光琳」展

会 期：2008年3月8日～4月13日（32日間）

休館日：毎週月曜日

会 場：4階特別展示室

入場料：一般1,000円 大高生700円  
中小生400円

主 催：京都府、京都文化博物館、京都新聞社、NHK京都放送局、NHKきんきメディアプラン（4月1日よりNHKプラネット近畿に変更）

後 援：京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都商工会議所京都府観光連盟、京都市観光協会、歴史街道推進協議会、KBS京都、エフエム京都

協 賛：あいおい損害保険株式会社、日本写真印刷株式会社

制作協力：NHKプロモーション

担当者：洲鎌佐智子

概 要：江戸時代中期を代表する陶芸家・尾形乾山（1663-1743）と、その兄である画家・尾形光琳（1658-1716）。東福門院の御用も勤めた高級呉服商・雁金屋に生まれ育った二人の兄弟は、上層町衆に蓄えられてきた



「乾山の芸術と光琳展」会場入口周辺風景



「乾山の芸術と光琳展」シンポジウム風景

芸術的素養や家業で育まれたデザイン感覚を礎にしながら、新しい時代の美意識や嗜好をも積極的に取り込んで、斬新かつ優れた作品を数多く制作した。いわゆる「琳派」の中核に位置する二人は今や広くその名を知られていますが、まだ多くの不明点も残されている。そうしたなか、近年、陶芸を志した乾山が鳴滝（京都市右京区）に初めて開いた窯の発掘調査が行われ、乾山という呼び名の由来となったこの都の乾（北西）の山に築かれた窯跡から、多くの新事実が明らかとなった。

本展は、2008年に光琳生誕350年、2009年に乾山の鳴滝窯開窯310年を迎えるのを機に、最新の研究成果をもとに乾山陶の名品の数々をこれまでにない新しい切り口で展覧したもの。また同時に、それらの絵付けに関わった光琳の作品もあわせて展示、日本が誇る偉大な芸術家兄弟の軌跡と創作の背景を紹介した。

展覧会の構成と主な作品：

第1章 町衆の美意識～雁金屋・尾形兄弟の育った環境～

第2章 芸術家への道のり～憧れ・学び・交わり～

第3章 鳴滝時代の乾山焼

1. 乾山焼の異国趣味
2. 乾山焼における王朝の伝統美
3. 琳派的造形への展開

第4章 光琳と乾山～兄弟の合作～

第5章 二条丁字屋時代と聖護院窯

第6章 入谷時代と乾山の晩年

重文「雁金屋衣裳図案帳〔御絵帳〕」（小西家文書）（大阪市立美術館）

重文「尾形光琳・乾山筆 覚書帖」（小西家文書）（京都国立博物館）

重文「色絵金銀菱重茶碗」野々村仁清（MOA美術館）

「秋好中宮図」尾形光琳筆（MOA美術館）

「色絵定家詠十二カ月和歌花鳥図角皿」尾形乾山作（MOA美術館）

「錆絵百合形向付」尾形乾山作（MIHO MUSEUM）



重文「錆絵寿老人図六角皿」尾形乾山  
作、光琳画（大倉集古館）

重文「錆絵観～図角皿」尾形乾山作、  
光琳画（東京国立博物館）

重文「錆絵染付金彩薄文蓋物」尾形乾  
山作（サントリー美術館）

重文「錆絵染付金銀白彩松波文蓋物」  
尾形乾山作（出光美術館）

「定家詠十二カ月和歌花鳥図  
女郎花・鶺鴒（七月）」尾形乾  
山筆（個人蔵）

「色絵紅葉文透彫反鉢」尾形乾  
山作（個人蔵）

重文「花籠図」尾形乾山筆（福岡市美  
術館：松永コレクション）

「鳴滝窯跡出土遺物」（法蔵禅寺、  
石水博物館）

出品作品数：約 150 件

入場者：32,014人（1日平均1,000人）

講演会：3階映像ホール

平成20年3月15日（土）

午前11時～午後12時30分

荒川正明先生（出光美術館主任学芸員）

「乾山のやきもの～鳴滝窯での作陶を中心  
として～」

参加者／93人

シンポジウム：別館ホール

3月23日（日）午後2時～4時

パネリスト／荒川正明（出光美術館主任学  
芸員）、木立雅朗（立命館大学教授）、竹中  
浩（陶芸家）、平尾政幸（京都市埋蔵文化  
財研究所統括主任）

進 行／木立雅朗

共 催／立命館大学グローバルCOEプログ  
ラム「日本文化デジタル・ヒュー  
マニティーズ拠点」

参加者／142人

### 2007（平成19）年度特別展の開催状況一覧

展 覧 会 名	会 期	日 数	入場者数	一日平均	形 態
丸紅コレクション 絵画と衣裳 美の名品展 ～ポッティチェリ「美しきシモネッタ」・淀君の辻が花小袖～	2007. 4.13～ 5.27	39	37,418	959	自主企画展
プリンセスの輝き ティアラ展 ～華麗なるジュエリー の世界～	6.09～ 7.22	39	68,480	1,756	共催展
世界遺産 ナス力展 ～地上絵の創造者たち～	8.04～ 9.24	45	97,411	2,165	共催展
トルコ・イスタンブール歴史紀行 トプカプ宮殿の至宝展 ～オスマン帝国と時代を彩った女性たち～	10.06～ 12.02	51	93,394	1,831	共催展
川端康成と東山魁夷 ～響き合う美の世界～	2008. 1.16～ 2.24	35	49,572	1,416	共催展
乾山の芸術と光琳	3. 8～ 4.13	20	17,715	886	共催展
計 6 件		229	363,990	1,589	

乾山展は年度をまたいだ展覧会のため、ここでは3月31日までの数字を記入している。

### (3)「京都府美術工芸新鋭展～2008 京都工芸ビ エンナーレ～」

会 期：2008年1月4日（金）～1月27日（日）（21  
日間）

休館日：毎週月曜日

入場料：無料

主 催：京都府・京都文化博物館

後 援：京都新聞社・朝日新聞京都総局・毎日新聞  
京都支局・読売新聞大阪本社・産経新聞  
社・日本経済新聞社・NHK京都放送局・



「京都府美術工芸新鋭展」会場風景

KBS京都・エフエム京都・京都商工会議所・京都工芸美術作家協会

担当者：洲鎌佐智子

概要：新進作家の育成を図るとともに、卓抜した創造性・技術を備えた作品を紹介することにより、これからの美術・工芸の一層の振興を図ることを目的とし、工芸と美術の特色を活かすため、それぞれの分野を隔年で開催するもので、今年度は工芸を対象とする。また本展は、審査員および大学などからなる招待部門と公募部門から二部から構成され、公募部門については賞を、さらに両部門ともに、テーマとして「源氏物語」と「自由」の設けた。

作品：公募部門大賞受賞

〔テーマ：源氏物語〕

兼先 恵子「朝顔の姫宮―源氏物語・朝顔の帖」(染織)

〔テーマ：自由〕

渡部 味和子「掌中の夢」(陶芸)

入場者：6,067人(1日平均289人)

出品作家によるギャラリートーク：6階展示室

1月19日(土) 14:00～15:10

渡部味和子、金相熙、林塔子、山下裕美子、渡邊操、朝倉美津子、植田参稔、坂井洋、柴田良三、下出祐太郎、藤田雄彦、宮本貞治、村田好謙の13人の作家が参加。

視聴者は30～60人が参加。

#### 【併設展示】

- ・京都の工芸技術を支える道具 一描く・塗る一
- ・イタリア若手工業デザイナーと京都の伝統産業職人との協同制作作品展

#### (4) 京都府民ギャラリー事業への協力

京都府では、府民が身近に「文化・芸術の町」を体感できる空間を創出するために、府民ギャラリー事業を実施している。本事業は、京都府が所蔵する美術工芸品のうち、「京の四季」や「京の絵本原画」等から

テーマを定めて構成した作品群を、府内の文化施設で展示するもので、当館は～展示会場となる文化施設の事前調査、～展示作品の選定、～会場での展示指導などに協力している。

#### 府民ギャラリー

主催者	期間	開催場所	展示内容
京都府	2007.3.27～6.29	京都府庁	「京の四季」から6点
京都府	2007.6.21～9.28	京都府庁	「京の四季」から6点
京都府	2007.9.26～12.28	京都府庁	「京の四季」から6点
たけはら美術館	2007.11.12～12.21	たけはら美術館	「京の絵本原画」から166点
京都府	2008.1.23～3.31	京都府庁	「京の四季」から6点

世界8番目の不思議。  
 果たなぜ、何のために地上に描かれたのか  
 世界中の研究者たちが驚愕の連続をもた  
 せて世界遺産の称号を授け、1000年  
 前の子供の「ナンカ」が、今も世界中  
 の心をとらえている。ナンカは、今も  
 ナスカの謎を解く手がかりを我々に  
 残している。その謎を解く手がかりを  
 我々に残している。

世界遺産  
**ナスカ展**  
 地上絵の創造者たち

**Nasca**  
 Wonder of the World  
 Messages Etched on the Desert Floor

2007年8月4日(土)~9月24日(月・祝)

午前10時~午後6時 (入場は午後5時30分まで)

休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)

入場料 一般: 1,300円(1,100円) 小学生: 900円(700円) 中学生: 500円(400円)

主催 京都府、京都文化博物館、毎日新聞社、毎日放送、京都府観光局  
 協賛 外務省、文化庁、文部科学省、国土交通省、観光庁、京都府観光局、京都府教育委員会、  
 京都府工業局、京都府観光局、京都府観光局、京都府観光局、京都府観光局、京都府観光局、  
 京都府観光局、京都府観光局、京都府観光局、京都府観光局、京都府観光局、  
 協力 王子製紙、東京海上日動、凸版印刷、日本通運、日本ヒューレット・パッド、  
 AIR FRANCE KLM CARGO

成功させよう 平成23年度長文化祭 京都展  
**京都文化博物館**  
 〒604-8183 京都市中京区三条高倉  
 URL: www.bunkaku.or.jp TEL: 075-222-0888

「世界遺産 ナスカ展」ちらし

トルコ・イスタンブール歴史紀行  
**トプカプ宮殿の至宝展**  
 ~オスマン帝國と  
 華代を彩った女性たち~

2007年10月6日(土)~12月2日(日)

開館時間: 午前10時~午後6時 (入場は午後5時30分まで)  
 月曜休館 (祝日の場合は翌日)  
 臨時閉館 10月22日(月・時代祭)

主催 京都府、京都文化博物館、毎日新聞社、毎日放送、NHK  
 協賛 外務省、文化庁、文部科学省、国土交通省、観光庁、京都府観光局、京都府教育委員会、  
 京都府工業局、京都府観光局、京都府観光局、京都府観光局、京都府観光局、  
 京都府観光局、京都府観光局、京都府観光局、京都府観光局、京都府観光局、  
 協力 TOYOTA、DNP、日本通運  
 協力 TURKISH AIRLINES、IBERIAN CARGO、ANA、ANA CARGO

**京都文化博物館**  
 〒604-8183 京都市中京区三条高倉  
 URL: www.bunkaku.or.jp TEL: 075-222-0888

「トプカプ宮殿の至宝展」ちらし

**東山魁夷**

平成20年  
 1月16日(水)~2月24日(日)

**川端康成と**  
 響きあう美の世界

月曜日休館 (祝日の場合は翌日) 開館時間 10時~18時 (入場は17時30分まで)

入場料 一般: 1,300円(1,100円) 小学生: 900円(700円) 中学生: 500円(400円)

主催 京都府、京都文化博物館、毎日新聞社、毎日放送、NHK  
 協賛 外務省、文化庁、文部科学省、国土交通省、観光庁、京都府観光局、京都府教育委員会、  
 京都府工業局、京都府観光局、京都府観光局、京都府観光局、京都府観光局、  
 京都府観光局、京都府観光局、京都府観光局、京都府観光局、京都府観光局、  
 協力 王子製紙、東京海上日動、凸版印刷、日本通運、日本ヒューレット・パッド、  
 AIR FRANCE KLM CARGO

成功させよう 平成23年度長文化祭 京都展  
**京都文化博物館**  
 〒604-8183 京都市中京区三条高倉  
 URL: www.bunkaku.or.jp TEL: 075-222-0888

「川端康成と東山魁夷展」ちらし

**乾山の芸術と光琳**  
 Art of Kanzan and His Brother Kōrin

2008年3月8日(土)~4月13日(日)

休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日) 午前10時~午後6時 (入場は午後5時30分まで)

入場料 一般: 1,300円(1,100円) 小学生: 900円(700円) 中学生: 500円(400円)

主催 京都府、京都文化博物館、毎日新聞社、毎日放送、NHK  
 協賛 外務省、文化庁、文部科学省、国土交通省、観光庁、京都府観光局、京都府教育委員会、  
 京都府工業局、京都府観光局、京都府観光局、京都府観光局、京都府観光局、  
 京都府観光局、京都府観光局、京都府観光局、京都府観光局、京都府観光局、  
 協力 TOYOTA、DNP、日本通運  
 協力 TURKISH AIRLINES、IBERIAN CARGO、ANA、ANA CARGO

**京都文化博物館**  
 〒604-8183 京都市中京区三条高倉  
 URL: www.bunkaku.or.jp TEL: 075-222-0888

「乾山の芸術と光琳展」ちらし

### 3-3 映画

#### (1) 常設上映

#### 2007（平成19）年度 3F 映像ホール映画上映

上映期間	テ ー マ	作 品 名	日数	回数	鑑賞者
2007.4.5～4.29	映画美術監督 内藤昭追悼特集	夜の河／次郎長富士／悪名／座頭市物語／忍びの者／眠狂四郎殺法帖／剣／泥の河	16	32	1,610
2007.5.3～5.27	【没後30年】 映画女優 田中絹代特集	落第はしたけれど／伊豆の踊子／花籠の歌／愛染かつら／西鶴一代女／恋文／三婆／サンダカン八番娼館望郷	16	32	2,026
2007.5.31～9.2	日本のハリウッド・撮影所特集	忠臣蔵／渋川伴五郎／百万両秘聞／無憂華／男達ばかり／滝の白糸／狂った一頁／雪之丞変化／祇園の姉妹／花火の街／宝の山に入る退屈男／赤垣源蔵／鞍馬天狗 龍襲虎搏の巻／江戸の悪太郎／ああ青春／治郎吉格子／暗殺／近松物語／大阪物語／炎上／薄桜記／暴れん坊街道／一心太助 天下の一大事／仁義なき戦い／序の舞	49	98	4,665
2007.6.14～ 2007.6.17	ティアラ展映画上映	ロバと王女／ベルサイユのばら	4	8	824
2007.7.13、15	祇園祭特別映画上映	祇園祭	2	4	296
2007.9.6～9.23	【第6回新京極映画祭連携企画】 七転八起～新しい道をもとめて	東京の合唱／綴方教室／どっこい生きてる／ここに泉あり／にあちゃん／キューポラのある街	12	24	1,323
2007.9.27～9.30	【第2回太秦フェスティバル協賛企画】 日本映画を変えた京都の職人たち	浪華悲歌／無法松の一生／雨月物語／斬る	4	8	563
2007.10.4、5	【第2回太秦フェスティバル協賛企画】 ドイツ映画界最新事情 ～ドキュメンタリー映画の潮流と若手才能発掘プロジェクト	ブラック・ボックス・ジャーマニー Black Box BDR／SELF AND OTHERS／キック Der Kick（DVD 上映）／芝居に夢中 Die Spielwoetigen	2	5	213
2007.10.6～10.28	【「きものの似合うまち・京都」 推進事業協賛企画】 くらしの中の情緒～生活にとけ込むきもの	人生のお荷物／朧夜の女／女人哀愁／細雪／雪夫人絵図／東京物語／千羽鶴	13	26	1,442
2007/10/13	映画『祇園祭』 ニュープリント披露上映会	祇園祭	1	2	264
2007/10/23	文化庁工芸技術記録映画上映会	桐壺人形 林駒夫のわざ	1	2	139
2007.11.1～11.4	【トプカブ展記念上映】 現代イスタンブールの魅力～ ファティ・アキン監督作品特集	太陽に恋して／クロッシング・ザ・ブリッジ～サウンド・オブ・イスタンブール～	4	8	481
2007.11.8～11.11	【上方ルネッサンス 2007 楽劇の祭典協賛企画】 古諺芸能への挑戦2～松本俊夫と増村保造	修羅／曾根崎心中	4	8	385
2007.11.15～12.2	女心に女が惚れる～女性が魅了されるヒロイン特集	夜ごとの夢／わが青春に悔なし／カルメン故郷に帰る・モノクロ版／螢火／名もなく貧しく美しく／はなれ藝女おりん	16	32	1,330
2007.12.6～12.23	大型・長編時代劇の醍醐味～ 『宮本武蔵』と『大菩薩峠』	宮本武蔵／宮本武蔵 般若坂の決斗／宮本武蔵 二刀流開眼／宮本武蔵 一乗寺の決斗／宮本武蔵 巖流島の決斗／大菩薩峠／大菩薩峠 亀神の巻／大菩薩峠 完結編	12	26	1,789
2008.1.5～3.23	【没後10年】 黒澤明と木下恵介～昭和を映した2つの巨星	姿三四郎／花咲く港／大曾根家の朝／酔いどれ天使／破れ太鼓／醜聞（スキャンダル）／カルメン故郷に帰る／白痴／日本の悲劇／七人の侍／二十四の瞳／太陽とバラ／どん底／喜びも悲しみも幾歳月／悪い奴ほどよく眠る／永遠の人／天国と地獄／赤ひげ	34	66	4,401

2008.1.20、2.7、2.17	ぶんぱく子ども映画ワークショップ	映像原理体験（1月20日）／活弁体験『国士無双』（2月3日）／アニメーション製作体験（2月17日）	3	3	90
2008.3.6～3.30	【没後35年】 映画俳優 森雅之特集	安城家の舞踏会／わが生涯のかゝやける日／蟹工船／浮雲／こころ／挽歌／おとうと／女が階段を上る時	16	32	2,273

◇【ティアラ展記念映画上映】

フランス映画の名匠ジャック・デュミが描く宮廷物語

会場：3階映像ホール

内容：『ロバと王女』、『ベルサイユのばら』の上映。

期間：6月14日～17日

鑑賞者：824人

◇第2回映画の保存と復元に関するワークショップ

共催：大阪芸術大学、プラネット映画資料図書館、神戸映画資料館、IMAGICA ウェスト

会場：神戸映画資料館

内容：映画の保存と復元に関する講義とフィルム復元作業の演習の計3日間にわたるワークショップ。

期間：平成19年9月2日～4日

参加者：65人

◇日本映像学会関西支部 第29回夏期ゼミナール2007

「ある師弟の系譜 - 川島雄三、今村昌平、浦山桐郎の場合」

共催：京都府、日本映像学会関西支部

会場：京都府立ゼミナールハウス

内容：『にあんちゃん』、『豚と軍艦』等9作品の上映とシンポジウム。

期間：8月3日～5日

参加者：60人

◇【第6回新京極映画祭連携企画】

七転八倒～新しい道を求めて～

協力：新京極商店街振興組合

会場：3階映像ホール

内容：『東京の合唱』、『綴方教室』等6作品の上映

期間：9月6日～23日

鑑賞者：1,323人

◇「きものの似合うまち・京都」推進事業協賛企画

くらしの中の情緒～生活にとけ込むきもの

協力：京都府染織・工芸室、和装振興財団

会場：3階映像ホール

内容：『人生のお荷物』、『細雪』、『東京物語』等8作品の上映と資料展示。

期間：10月6日～28日

鑑賞者：1,442人

◇【京都太秦シネマフェスティバル協賛上映企画】

日本映画を変えた京都の職人たち

協力：太秦フェスティバル実行委員会

会場：3階映像ホール

内容：『浪華悲歌』『無法松の一生』『雨月物語』『斬る』の上映と資料展示。

期間：9月27日～30日

鑑賞者：563人

◇上方ルネッサンス2007 楽劇の祭典 協賛上映

古典芸能への挑戦2～松本俊夫と増村保造

協力：関西楽劇フェスティバル協議会

会場：3階映像ホール

内容：『修羅』、『曾根崎心中』の上映。

期間：11月8日～11日

鑑賞者：385人

◇ドイツ映画界最新事情

～ドキュメンタリー映画の潮流と若手才能発掘プロジェクト

共催：太秦フェスティバル実行委員会、ドイツ文化センター、立命館大学、京都造形芸術大学

会場：3階映像ホール、アートコンプレックス1928

内容：『ブラック・ボックス・ジャーマニ』等4作品の上映とシンポジウム。

期間：10月4日～5日

鑑賞者：213人

◇映画『祇園祭』ニュープリント披露上映会

共催：京都府、大阪芸術大学

会場：3階映像ホール

内容：『祇園祭』の上映と講演。

期間：10月13日

鑑賞者：264人

◇文化庁工芸技術記録映画上映会

共催：文化庁

会場：3階映像ホール

内容：『桐塑人形 林駒夫のわざ』の上映と講演。

期 間：10月23日

鑑賞者：139人

◇【トプカブ展記念映画上映】

現代イスタンブールの魅力～ファティ・アキン監督

作品特集

会 場：3階映像ホール

内 容：『太陽に恋して』、『クロッシング・ザ・ブリッジ』の上映。

期 間：11月1日～4日

鑑賞者：481人

◇ぶんぱく子ども映画ワークショップ

支 援：文化庁

会 場：3階映像ホール他

内 容：映像原理体験（1月20日）、活弁体験『国士無双』（2月3日）、アニメーション製作体験（2月17日）。

期 間：平成20年1月20日、2月3日、2月17日

鑑賞者：90人

(2) 映像ギャラリー常設展示

京都府所蔵の映画関連資料より、明治から昭和初期の映画カメラ・映写機、伊藤大輔文庫、大映京都撮影所関連資料を展示している。また所蔵の映画作品から73作品をダイジェストして収録し、検索システムとして公開している。詳細については、『京都文化博物

館10年のあゆみ』（1999年）を参照されたい。なお、映像ホールでの企画上映にあわせて、ポスター・スチル・チラシ等50点前後の資料を随時展示替えしながら公開している。2006年度は下記のテーマで展示した。

2007（平成19）年度3F ギャラリー展示

期 間	テ ー マ
2007. 4. 3～ 4.30	映画美術監督 内藤昭追悼特集
2007. 5. 3～ 5.30	没後30年 映画女優・田中絹代特集
2007. 5.31～ 7. 1	映画日本上陸110年企画 日本のハリウッド・京都、撮影所特集1
2007. 7. 5～ 9. 5	映画日本上陸110年企画 日本のハリウッド・京都、撮影所特集2
2007. 9. 6～ 10.3	第6回新京極映画祭連携企画 七転八起～新しい道を求めて
2007.10. 4～ 10.31	・ドイツ映画界最新事情ドキュメンタリー映画の潮流と若手才能発掘プロジェクト ・くらしの中の情緒～生活にとけ込むきもの ・映画『祇園祭』ニュープリント披露上映会 ・文化庁工芸技術記録上映会
2007.11. 1～ 12. 2	・現代イスタンブールの魅力～ファティ・アキン監督作品特集 ・古典芸能への挑戦2 松本俊夫と増村保造 ・女心に女が惚れる一女性が魅了されるヒロイン特集
2007.12. 4～ 12.27	大型・長編時代劇映画の醍醐味～『宮本武蔵』と『大菩薩峠』
2008. 1. 4～ 2. 3	【没後10年】黒澤明と木下恵介一昭和を映した2つの巨星1
2008. 2. 5～ 3. 2	【没後10年】黒澤明と木下恵介一昭和を映した2つの巨星2
2008. 3. 4～ 3.30	【没後10年】黒澤明と木下恵介一昭和を映した2つの巨星3

(3) 京都府映像文化センター運営委員

氏 名	所 属 等	氏 名	所 属 等
中島 貞夫	映画監督	山田 善夫	京都興行協会常任理事
中村 努	シナリオライター	山内 一	京都府文化芸術室長
奈村 協	東映京都撮影所長	荒巻 禎一	内部委員
羽生 清	京都造形芸術大学教授	鈴木 真咲	内部委員
森田富士郎	映画撮影監督	青木 完一	内部委員

## 4. 調査研究活動

### 4-1 学芸員の活動

#### (1) 博物館研究費による研究

- 畑 智子 ・ 京都における近代輸出工芸について  
南 博史 ・ 中米における初期王権の発生と古代オルメカ文明の拡散  
市川 彰 ・ 『都林泉名勝図会』に記された「名宝」  
横山和弘 ・ 博物館の歴史展示における模型資料の有効活用に関する研究

#### (2) 外部研究費・共同研究等による研究

- 野口 剛 ・ 文部科学省科学研究費基盤研究(B)(1)「江戸時代における『書画情報』の総合的研究—『古画備考』を中心に—」(代表:玉蟲敏子武蔵野美術大学教授)研究協力者  
植山 茂 ・ 科学研究費基盤研究B「統一新羅時代の瓦の総合的研究」(代表:高正龍立命館大学教授)研究協力者  
南 博史 ・ 「エルサルバドル考古学プロジェクト」(新大陸文化研究会:伊藤伸幸名古屋大学助手)  
森脇清隆 ・ 大阪芸術大学芸術研究所特別プロジェクト「玩具映画及び映画復元・調査・研究プロジェクト」(代表:太田米男大阪芸術大学教授)研究協力者

#### (3) 出講・委嘱

- 畑 智子 ・ 京都府美術工芸新鋭選抜展 審査員  
・ 福知山市佐藤太清賞公募美術展 審査員  
・ 京都工芸美術作家協会 審査員  
鈴木忠司 ・ (財)古代学協会委嘱 古代学協会評議員  
『古代文化』刊行委員会編集委員  
・ 岩宿文化賞選考委員  
南 博史 ・ 文友会創立50周年記念事業準備委員  
森脇清隆 ・ 京都国際学生映画祭顧問  
・ 京都映画祭専門委員  
・ 芸術科学会関西支部幹事  
洲鎌佐智子 ・ 第19回工芸美術創工会展審査員  
・ 滋賀県立陶芸の森評価委員会委員  
横山和弘 ・ 愛知県史編さん委員会 中世史部会 調査協力員

#### (4) 学芸員の業績

##### a. 論文・著作

- 畑 智子 ・ 「ボウズコレクションにみる19世紀輸出工芸の受容の様相」(稲賀繁美編『伝統工芸再考-京のうちそと』所収、思文閣出版、2007年7月)  
・ 「19世紀万国博覧会時代の陶磁器の輸出について」(『ノリタケデザイン百年の歴史』展図録所収、朝日新聞社、2007年6月)  
・ 「近代七宝工芸の図案に関する基礎的研究」(『鹿島美術財団報告論文集』所収、2007年11月)  
洲鎌佐智子 ・ 「齋田梅亭」(『週間人間国宝 49工芸技術諸工芸1』所収 朝日新聞社、2007年5月)  
・ 「南蛮漆器つれづれ」(『漆器青年会会報』所収、京都漆器青年会、2007年6月)  
・ 「作品解説」(『乾山の芸術と光琳』図録所収、NHKプロモーション、2007年11月)  
野口 剛 ・ 「回顧と展望(近世・美術)」(『史学雑誌』所収、史学会、2007年)  
・ 「四条派生成のとき 江戸後期京都画壇草創期の作品をめぐる」(『美術フォーラム21』所収、醍醐書房、2007年)  
・ 「定家詠十二ヶ月花鳥図と乾山」(『乾山の芸術と光琳』所収、NHKプロモーション、2007年11月)  
・ 「作品解説」(『乾山の芸術と光琳』所収、NHKプロモーション、2007年11月)  
鈴木忠司 ・ 「岩宿時代の台石とその意義について—植物食をめぐる基礎的研究—」(『古代文化』第59巻第3号所収、2007年12月)  
・ 「岩宿時代の植物質食料」(『日本旧石器学会第5回講演・研究発表シンポジウム予稿集』所収、2007年6月、東京)  
鈴木忠司・竹内直文・磯群調理実験グループ  
・ 「石蒸し調理実験記録8—玄武岩の耐熱性とストーンボイリングをめぐる—」(『朱雀』第20集所収、2008年3月)  
植山 茂 ・ 「トブカブ宮殿の至宝展」1~5(『朝日新聞』朝刊、大阪版・京都版、2007年10~11月)

- 南 博史 ・「メキシコ合衆国ベラクルス州EL MANATI遺跡-中米メソアメリカ初期古代文化「オルメカ」の母地-」(『朱雀』第20集所収、2008年3月)
- ・「考古学と博物館」(『渡辺誠先生古稀記念論文集』所収、記念論文集刊行会、いわき、2007年11月)
- 森脇清隆 ・「科学教育ボランティアと大学および博物館の関わり方の一考察-エジソン展を事例に」(『国立オリンピック記念青少年総合センター研究紀要』所収、2007年4月)
- ・「京都の映画文化を展示する-文化を尊重した受容環境について」(展示学会誌『展示学』第44号所収、2007年11月)
- 横山和弘 ・「平安後期寺院社会の構造をめぐって-東寺の本末関係にみる「本寺政所」の考察から-」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第20集所収、2008年3月)
- 市川 彰 ・『都林泉名勝図会』に記された名宝」(『朱雀』第20集所収、2008年3月)
- b. 発表・講演**
- 鈴木忠司 ・「岩宿時代の植物食」(第5回日本旧石器学会、東京大学、2007年6月23日)
- ・「岩宿時代人は何を食べて生きてたか」(第56会都評判会、京都文化博物館、2008年3月23日)
- 植山 茂 ・「建築の模型」(歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2007年5月19日)
- ・「祇園祭の山と鉾」(歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2007年7月14日)
- ・「平安宮の鬼瓦と鴟尾」(歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2007年12月22日)
- ・『正月と狂言』(歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2008年1月26日)
- 南 博史 ・「通りのにぎわい模型」(歴史常設展展示解説、2007年6月16日)
- ・「夏休み子どもギャラリートーク『展示室探検』」(歴史常設展展示解説、2007年8月25日)
- ・木澤源平(木澤工務店会長)「匠の世界：新・校倉造り」(歴史常設展展示解説、2007年10月13日)
- 森脇清隆 ・「映画『祇園小唄 絵日傘 狸大尽』の復元と京都文化博物館の活動報告」(国際フィルムアーカイブ連盟総会、東京国立近代美術館フィルムセンター、2007年4月8日)
- ・「京都の映画文化を展示する-文化を尊重した受容環境についての考察」(第26回展示学会総会、京都橘大学、2007年5月8日)
- ・「映画復元の歴史と地域の映画文化アーカイブ」(第2回映画の保存と復元に関するワークショップ、神戸映画資料館、2007年9月2日)
- ・「京都の映画史とアーカイブと都市・地域創造・再生」(「映像コンテンツ知的財産活用」ワークショップ、京都文化博物館、2007年6月24日)
- ・「ドイツ映画界最新事情-ドキュメンタリー映画の潮流と若手才能発掘プロジェクト」(ドイツ映画界最新事情-ドキュメンタリー映画の潮流と若手才能発掘プロジェクトシンポジウム、アートコンプレックス 1928、2007年10月5日)
- ・「記憶のフィルム 鞍馬天狗のころ」(芸能こそ本源『和風胚胎』出版記念会、学芸出版社、2008年2月23日)
- 洲鎌佐智子 ・京都文化博物館友の会文化講座(京都文化博物館、2008年3月21日)
- 横山和弘 ・「狩野益信の洛中洛外図屏風について」(歴史常設展示室展示解説、京都文化博物館、2007年4月21日)
- ・「発掘された埋納銭~600年の時を越えて~」(歴史常設展示室展示解説、京都文化博物館、2007年9月15日)
- ・「平安京探検~三条通を歩こう~」(三条通歩こうイベント、京都文化博物館、2007年11月18日)
- ・「源平合戦ゆかりの地~以仁王御所 高倉宮をめぐって~」(歴史常設展示室展示解説、京都文化博物館、2008年2月16日)
- ・「紫式部と『源氏物語』」(MOKの会例会、京都文化博物館、2008年3月8日)
- 市川 彰 ・「『誓願寺門前図屏風』を『読む』」(歴史常設展示室展示解説、京都文化博物館、2007年10月16日)
- ・「若中の障壁画」(NHK大阪文化センター、2008年3月13日)



## 5. 普及活動

### 5-1 出版物

#### (1) 京都文化博物館研究紀要『朱雀』

##### ◇『朱雀』第20集

発行：京都文化博物館  
発行日：2008年3月31日  
印刷：(株)吉川印刷工業所  
体裁：B5判、118ページ  
編集担当：鈴木忠司  
所載記事は下記のとおり。

##### 【論 攷】

横山和弘 平安後期寺院社会の構造をめぐって  
—東寺の本末関係にみる「本寺政所」  
の考察から—

##### 【研究ノート】

鈴木忠司・武内直文・磯群調理実験グループ  
石蒸し調理実験記録8) —玄武岩の耐  
熱性とストーンボイリングをめぐって—

磯野眞智子 『源氏物語に関する謡跡』

市川 彰 『都林泉名勝図会』に記された「名宝」

##### 【資料紹介】

森 雅樹 続俗曲考—明治期の流行歌における—

考察—

##### 【紹介】

南 博史 メキシコ合衆国ベラクルス州EL MAN-  
ATI遺跡—中米メソアメリカ初期古文  
化「オルメカの母地」—

#### (2) 京都文化博物館年報

##### ◇2006（平成18）年度

編集・発行：京都文化博物館  
発行日：2007年11月26日  
印刷：(株)吉川印刷工業所  
体裁：A4判、48ページ  
編集担当：鈴木忠司

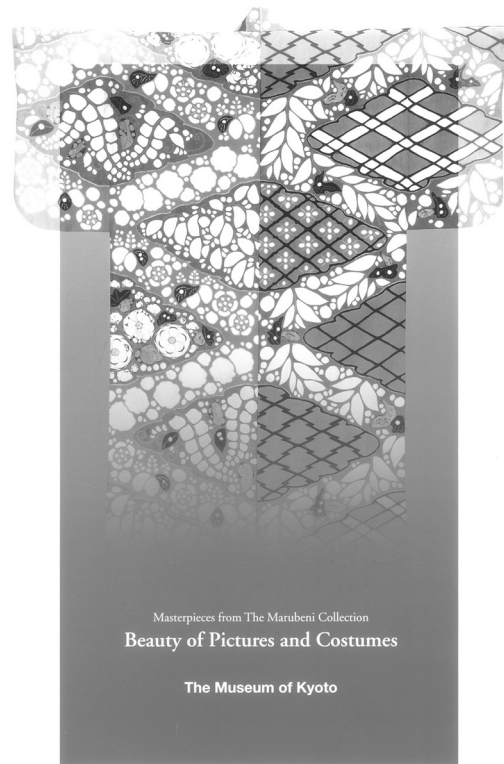
#### (3) 展覧会図録

##### ◇『丸紅コレクション 絵画と衣裳 美の名品展～ポッ ティチェリ「美しきシモネッタ」・淀君の辻が花小袖～』

編集：京都文化博物館学芸課  
発行：京都府京都文化博物館・産経新聞社  
発行日：2007年4月13日  
制作・印刷：株式会社写真化学・株式会社フリータ  
ム



「丸紅コレクション 絵画と衣裳 美の名品展」図録（表）



「丸紅コレクション 絵画と衣裳 美の名品展」図録（裏）

体 裁：タテ29.5cm×ヨコ22.5cm、222ページ  
 ◇『京都府美術工芸新鋭展～2008京都工芸ビエン  
 ナーレ～』  
 編集・発行：京都府・京都府京都文化博物館  
 発行日：2008年1月4日

制作・印刷：ニューカラー写真印刷株式会社  
 体 裁：タテ29.8cm×ヨコ21cm、14ページ  
 ※各書の奥付に発行日のないものは、その展覧会の  
 開始月を挙げた。

## 5-2 講演会・音楽会

### (1) 講演会など

開催年月日	講 師	所属等	演題・テーマ	備 考
2007/4/14	杉浦 勉	丸紅株式会社アート キュレーター	『美しきシモネッタの肖像』～そ の美に隠された秘密に迫る～	「丸紅コレクション 美の名品展」講 演会
2007/4/21	横山 和弘	当館学芸員	狩野益信の洛中洛外図について	歴史常設展展示解説
2007/5/3	岡田 温司	京都大学大学院教授	ポッティチェリとルネッサンスの 女性肖像画	「丸紅コレクション 美の名品展」講 演会
2007/5/13	河上 繁樹	関西学院大学教授	淀君の小袖 桃山時代の女性 ファッション	「丸紅コレクション 美の名品展」講 演会
2007/5/19	植山 茂	当館学芸員	建築の模型	歴史常設展展示解説
2007/6/16	南 博史	当館学芸員	通りのにぎわい模型	歴史常設展展示解説
2007/7/14	植山 茂	当館学芸員	祇園祭の山と鉾	歴史常設展展示解説
2007/8/11	藤井・馬瀬氏	国立民族学博物館名誉 教授・京都市文化財保 護課技師	南米古代アンデス文明とナスカ	「ナスカ展」講演会と座談会
2007/8/25	南 博史	当館学芸員	夏休み子どもギャラリートーク 「展示室探検」	歴史常設展展示解説
2008/9/11	瀬木 貴将		アンデスの風 サンポーニャと ケーナ	「ナスカ展」コンサート
2007/9/15	横山 和弘	当館学芸員	発掘された埋納銭	歴史常設展展示解説
2007/10/13	平沢 源平	木澤工務店会長	新校倉造り	歴史常設展展示解説
2007/10/20	水野美奈子	龍谷大学国際文化学部 教授	トプカブ宮殿の美—オスマン美術 とハレムの女性文化—	「トプカブ宮殿の至宝展」講演会
2007/11/9	Kadife		トルコ音楽とオリエンタルダンス	「トプカブ宮殿の至宝展」コンサート
2007/11/17	市川 彰	当館学芸員	誓願寺門前図屏風を「読む」	歴史常設展展示解説
2007/12/22	植山 茂	当館学芸員	平安宮の鬼瓦と鴟尾	歴史常設展展示解説
2008/1/26	植山 茂	当館学芸員	正月と狂言	歴史常設展展示解説
2008/2/3	川端香男里 水原 園博	東京大学名誉教授・毎 日放送プロデューサー	対談「川端康成と東山魁夷展 魂の 交流」	
2008/2/16	横山 和弘	当館学芸員	源平合戦ゆかりの地—以仁王御所 高倉宮をめぐる—	歴史常設展展示解説
2008/3/1	南 博史	当館学芸員	展示室ぐるっとひとまわり	歴史常設展展示解説
2008/3/15	荒川 政明	出光美術館主任学芸員	乾山の焼き物—鳴滝での作陶を中 心に—	「乾山の芸術と光琳展」講演会
2007/3/23	荒川・竹中 浩・平尾政 幸・木立雅 郎氏	前出・陶芸家・京都市 埋蔵文化財研究所統括 主任・立命館大学教授	シンポジウム「乾山はなにを求め たか」	「乾山の芸術と光琳展」講演会

## (2) 音楽会

### a. 京都文化博物館音楽会シリーズ「歴史と共に〈音楽〉を楽しむ」

主催：京都文化博物館

後援：京都文化博物館友の会

協賛：吉忠株式会社

協力：アマデウス音楽事務所

企画・解説：岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授）  
京都文化財団理事

#### ◇歴史と共に〈音楽〉を楽しむ音楽会シリーズ・XVI ウィーン音楽の旅立ち—中欧からスラヴへ

第4夜	スラヴ音楽の成熟と南への憧れ — グリンカとリムスキー=コルサコフ	2007年4月5日	101名
お話し	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授）		
演奏	藤井一興（ピアノ）		
曲目	グリンカ：モーツァルトの歌劇「ドン=ジョヴァンニ」の主題による変奏曲 リムスキー=コルサコフ：スペイン奇想曲 OP.34		
第5夜	ロシア国民音楽の大成—ロシア五人組	2007年6月7日	202名
お話し	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授）		
演奏	上野真（ピアノ）		
曲目	ムソルグスキー：組曲 展覧会の絵 / グリンカ：バラキエフ編 ひばり キュイ：ノクターン 嬰へ短調 22-3 / ポロディン：スケルツォ 変イ長調 バラキエフ：イスラメイ 東洋風幻想曲 コーカサスの速いテンポの民族舞曲		
第6夜	スラヴ音楽の円熟と N. ルビンシテインへの追憶	2007年8月9日	135名
お話し	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授）		
演奏	稲垣 聡（ピアノ） / 田辺良子（ヴァイオリン） / 日野俊介（チェロ）		
曲目	チャイコフスキー：ロココ風の主題による変奏曲 OP.33 チャイコフスキー：ピアノ三重奏曲 イ短調 OP.50		

#### ◇歴史と共に〈音楽〉を楽しむ音楽会シリーズ・XVII 作品を通して見るベートーヴェンの生涯

第1夜	楽聖の生きた時代	2007年10月3日	138名
お話し	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授）		
演奏	神谷郁代（ピアノ）		
曲目	ベートーヴェン：ピアノソナタ 第14番 嬰ハ短調「月光」 OP.27-2 ベートーヴェン：ピアノソナタ 第8番 ハ短調「悲愴」 OP.13 ベートーヴェン：ピアノソナタ 第24番 嬰ハ長調 OP.78		
第2夜	オストマルクから神聖ローマ帝国へ	2007年12月6日	99名
お話し	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授）		
演奏	田淵千代子（ピアノ）		
曲目	ベートーヴェン：ピアノソナタ 第21番 ハ長調「ヴァルトシュタイン」 OP.53 ベートーヴェン：ピアノソナタ 第32番 ハ短調 OP.111		
第3夜	共和制への息吹の中で	2008年2月21日	123名
お話し	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授）		
演奏	藤満 健（ピアノ）		
曲目	ベートーヴェン：交響曲 第1番 ハ長調 OP.21 ベートーヴェン：交響曲 第7番 イ長調 OP.92		

### b. 祇園祭協賛事業：宵山ミュージアムコンサート

日時：2007年7月14日、15日、16日

主催：京都文化博物館

後援：京都文化博物館友の会・京都文化博物館ろ  
うじ店舗博和会

会場：京都文化博物館 別館ホール

演奏者：7月14日

Drakskip（北欧伝統音楽）

ラッシー（カントリー・オールドタイム

ブルーグラス）

ルアナ（ハワイアン）

TANGO EN VIA=DUO（バンドネオン・  
アンサンブル）

Grand Chariot（クラシック・ポップス）

Bon Appetit（MPB、ボサノバ）

レヴェランス（ジャズ・ボサノバ）

Dolce Vita（カンツォーネ）

くした（P）グループ+井上章一（ジャズ  
コンボ）

7月15日  
 花とおじさん（オールディーズ）  
 アストロリコ=Jr.TANGO（アルゼンチンタンゴ）  
 テオフィール室内楽団（室内楽）  
 Purities（モダンフォーク）  
 ニューサウンズ・コンボ（ジャズコンボ）  
 THE JUKE BOX（オールディーズ）  
 サントロペの仲間たち（シャンソン）  
 Drifting Hoboes（ウエスタン）  
 L.A.（アメリカンポップス）  
 Cats and Doll（ジャズコンボ、ヴォーカル）

7月16日  
 足立恵ニインターアクション（ジャズ・ボサノバ）  
 ふら〜っとオールスターズ（ジャズ）  
 ニューシャープハードオーケストラ



宵山ミュージアムコンサート会場風景

（ジャズ・ポップス）  
 生田流宮城社麗調会社中（箏曲演奏）  
 入場者：9,300人  
 ＊祇園祭協賛事業として開催し、午後9時30分まで別館の開館時間を延長した。

### c. オータムミュージアムコンサート

日 時：2007年11月10日、11日  
 会 場：京都文化博物館 別館ホール  
 演奏者：11月10日

Smile（フォーク）  
 Cotys（クラシック）  
 ご近所ばんど『おやかまっさんどす』（関西フォーク・他）  
 バンドネオンアンサンブル TANGO EN VIA～Duo（バンドネオン・タンゴ）  
 テオフィール室内合奏団（クラシック室内楽）  
 楽隊プラスレンジャー（ビッグバンド）

11月11日

DrakSkip（北欧伝統音楽）  
 アストロリコレディーズ"タンゴアルコイリス"（タンゴ）  
 Grand Chariot（クラシック・ポップス）  
 オルケスタ山崎（ビッグバンド・ラテン）  
 カケラバンク（フォーク）  
 Charme（クラシック）

入場者：1,100人

## 5-3 博物館実習

実施期間：2007年8月7日?8月10日

実習生：京都府立大学4名、立命館大学3名、京都造形芸術大学2名、京都外国語大学2名、京都精華大学3名、京都橘大学1名、京都教育大学1名、近畿大学1人 計17名

実習内容・担当者：

- ・ 博物館の概要・館内見学 一鈴木・畑
- ・ 美術資料について 一野口

- ・ 工芸品について 一洲鎌
- ・ 文書資料について 一横山
- ・ 考古資料について 一植山
- ・ ナスカ展 学習普及活動参加 一南
- ・ 映像資料について 一森脇
- ・ 展示環境について 一長舟
- ・ まとめと反省 一全担当学芸員

## 5-4 その他の活動

### (1) 資料閲覧室

当館の図書資料は、歴史・考古・美術・工芸・映像など多分野にわたり、現在単行本約69,200冊、逐次刊行物約3,300タイトル（73,000冊）を収蔵している。中でも埋蔵文化財の発掘調査報告書が約29,000冊、展覧会図録が約11,200冊と多く、また、映画のシナリオを約12,000冊収蔵しているのも特徴である。これらの図書資料については、研究目的で特に閲覧を希望する者に対して公開している。なお、本年度の書籍の受け入れ数は、2,000件であった。

### (2) 文化情報コーナー

1階の文化情報コーナーでは、京都府内を中心とする美術館・博物館などの文化施設から送られてくるチラシやリーフレットなどを置いて、来館者が自由に持ち帰ることができるようにするとともに、近畿の歴史文化についてのDVDによる動画情報の「歴史街道—ロマンへの扉」を設置して、来館者に情報を提供している。また、NTTの無線LANスポットの設置場所にもなっている。

### (3) ホームページによる広報とコンテンツの提供

当館に於けるwebサイトの運用は、17年6月に現在のデザインを導入して以来、随時、改良とページの追加などを行い、そのアクセス数を増加してきました。19年度は専用サーバーに乗り換えた効果もあり、前年比で14%の増加。また、3F美術工芸展示室の頁の中で、担当学芸員による「作品解説」の掲載を開始しました。

#### ホームページ

19年度	総数	一日平均
アクセス数	525,009	1,434
ページビュー	1,980,310	5,411

#### 内訳上位

1. トップページ	429,472 (23%)
2. 特別展	227,676 (12%)
3. 地図交通機関	124,064 (7%)
4. 特別展スケジュール	80,296 (4%)
5. 施設利用案内	73,785 (4%)

### (4) 生涯学習ボランティア

当館の生涯学習ボランティアは、京都府長寿社会政

策室が生涯学習の振興を図るため、京都府の文化施設にボランティアを導入するよう呼びかけ、これに応じて平成6年4月15日に英語ボランティア・グループ「MOKの会」を結成した。

以後、外国人の入館者を対象に、2階常設展示（歴史展示室）において英語によるガイドとしてサービスを行っている。

また、「MOKの会」の行事として総会・例会・研修会などを通じ、会員の研鑽に努め独自の活動を実施している。

#### ◇2007年度の役員（会員数39名）

会長：千歳京造

副会長：大林恭子・高木美代子

#### ◇2007年度の活動

2007年 4月 7日 2007年度総会

6月 9日 6月例会 報告および2階英文キャプションについて、見学研修会について

9月 8日 9月例会 報告および見学研修会（兵庫県立歴史博物館）について、本能染工房への団体案内について

9月15-16日 S K Yふれあいフェスティバル2007参加

10月26日 京都府生涯学習文化施設ボランティア連絡会「第9回学習のひろば」主催（於：京都文化博物館）

11月10日 見学研修会（兵庫県立歴史博物館）

2007年 1月12日 1月例会 報告および平成20年度役員選出

2月 9日 子ども教室プログラム「館内ぐるぐる クイズでピンゴ」協力

3月 8日 3月例会 2008年度役員選出

会長：浅野伊三夫

副会長：河上和子（会計）

副会長：浜田千鶴子（庶務）

研修：横山和弘学芸員「紫式部と『源氏物語』」

## (5) 団体見学案内

個人での来館とは別に、数人から100人程度のグループによる来館が約6,000人ある。これに対しては、事前の申し出があれば施設、常設展示、特別展等の解説に応じている。グループ来館件数は160件前後で、このうちほぼ3分の1が解説を希望されている。団体来館は学校の授業、修学旅行などの行事の一環として

行なわれることが主体で、全体のほぼ半分をしめるが、各種の文化サークルや団体旅行での訪問も多い。学校の区分では中学校が一番多く、これに大学、高校、小学校がつく。このなかでは修学旅行の勉強の一環として質問事項を携えた数人のグループによる来館が目につく。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	386	1,527	837	654	493	498	878	537	87	218	293	349	6,757
来館件数	7	27	14	15	15	18	15	16	4	7	8	12	158
解説件数	4	5	3	3	1	8	6	4	1	2	3	5	45

## (6) 京都文化博物館友の会

友の会は、歴史、美術、工芸、映像等に興味を持つ人々が、京都文化博物館を通して楽しみながら博物館活動に協力することを目的とする。

### 1. 会員の特典

- ・ 会員証で常設展（映画鑑賞を含む）、特別展の無料での観覧
- ・ 会員同伴者5人以内を限度として1人20%の割引
- ・ 友の会が主催・後援する行事等の案内
- ・ 毎月、博物館の催事情報や各種行事案内の送付
- ・ 博物館発行出版物の割引

### 2. 会費

- ・ 個人会員 年会費 6000円
- ・ グループ 会員（2名以上） 年会費 5000円

### 3. 2007年の状況

会員総数：755名（個人542名、グループ213名）

#### ◇見学会

第1回 2007年6月18日(月)

見学先：「東山の工房を訪ねて」

藤平陶芸および佐藤木版画工房

説明者：末弘 直道氏（藤平陶芸）



藤平陶芸工房見学

佐藤 景三氏（佐藤木版画工房）

参加者：21名

第2回（第82回 文化財研修講座）

2007年8月19日(日) 昼・夜2回

見学先：「七夕の祭 乞巧奠」（文化財保護基金と共催）

参加者：47名（友の会会員）

第3回 2007年11月16日(金)

見学先：「秋の御室に京焼の伝承を訪ねて」

妙光寺および法蔵禅寺と鳴滝周辺

説明者：徳永 勲保氏（妙光寺管理責任者）

参加者：39名

第4回（第83回 文化財研修講座）

2008年2月8日(金)

見学先：「重要文化財 野村碧雲荘」（文化財保護基金と共催）

参加者：35名（友の会会員）

#### ◇文化講座

2008年3月21日(金)

（乾山の芸術と光琳展 概要説明）

場 所：別館講義室および展示会場

参加者：36名

講 師：洲鎌 佐智子（文化博物館学芸員）

## (7) 学習普及活動

### ◇「ぶんぱく子ども教室」事業

昨年度実施した全国博物館協会からの委託事業「地域こども安全教室活動」による地域と連携した教育普及活動をベースとして、今年度は文化庁主催「芸術拠点形成事業～ミュージアムタウン構想～」に応募。「ぶんぱく子ども教室」活動として実施した。その活動の

目的は以下の三つである。

1. ぶんぱくをとおして京都の町を知ろう。2. ぶんぱくをとおしていろいろな世界を知ろう。3. ぶんぱくを知ろう。

なお、今回から事業主体を博物館として、引き続き地域の方々に参加いただく実行委員会を設立した。博物館との協同のもと年間を通して安全地域づくり、京都文化に対する子どもの関心を高める活動を行った。

委員会名簿：西嶋直和（代表）、榎木良子、河野 泰、長谷川忠夫、西村祐一

担 当：南博史、森木礼子、磯野真知子（以上、学習普及ワーキングチーム）

おもな活動：

①平安京探検（11月18日）

（8）地域との連携参照

②三条通・知って得するクイズラリー

（11月18日）

（8）地域との連携参照

③新・校倉造り（12月8日）

歴史展示室匠のコーナーに展示中の「校倉造り」を別館中庭で組み立てる活動

協 力／木澤工務店

参加者／子ども5人 大人10人

④風船アート@ぶんぱく別館（1月12日）

風船と映像を使って100年前の別館の建物をアートな空間に。

協 力／増野智紀

参加者／子ども15人

⑤家紋体験（1月26日）

家紋について学ぶ。コンパスと定規を使って文様の制作体験。

協 力／京都紋章工芸協同組合

参加者／子ども10人、大人50人

⑥発見！映画の玉手箱（第1回1月20日、第2回2月3日、第3回2月17日）

映画の歴史や裏方を見て映像文化に親しむ。収蔵庫などを探検。さらに、弁士による活弁映画を体験。まあ、アニメ映画の制作にも挑戦した。

協 力／水口 薫、井上陽一

参加者／子ども23人、大人68人

⑦博物館内グルグル探検ツアー（2月9日）

前半は、博物館のさまざまな場所や設備を館員から話を聞きながら探検。後半は、チームにわかれ、館内をビンゴ形式のクイズに答えながら歩きました。

協 力／館内全員、MOK、学生ボランティア  
参加者／子ども33名

## （8）地域との連携

### ①「まちなかを歩く日」への参加と協力

地域住民・団体が中心となっていてすすめている「歩いて暮らせるまちづくり推進会議」（2000年7月設立）が、活動趣旨の啓発と普及を図るために地域全体で開催する「まちなかを歩く日」のイベント（11月17・18日）に、当館も昨年に引き続き参加した。第8回目となる今回は、「歩く人が主役になる2日間。秋の週末は、京のまちなかへ」を活動のテーマとし、京のまちなか9学区（城巽、龍池、本能、明倫、初音、柳池、日彰、生祥、立誠）において、さまざまな活動が行われた。

当館が協力・参加した活動（テーマ：ぶんぱくオープンミュージアム）は以下のとおりである。

a. ぶんぱく子ども教室「三条通・知って得するクイズラリー」（18日10時～15時）

子ども対象のプログラム。京の三条まちづくり協議会のご協力を得て、クイズに答えながら三条通りを歩く活動。

参加者／約150名（うち38名がゴール）

b. ぶんぱく子ども教室「『平安京探検！『三条通を歩く』』（18日14時～16時）

同。京都文化博物館が調査した周辺の発掘調査地をめぐるながら、三条界隈の平安時代の様子を解説した。大人の参加が多かった。

参加者／子ども2名、大人13名

c. 別館前総合情報拠点設置（17日・18日）

d. 「歴史常設展示ギャラリートーク」（17日13時30分～14時30分）

関西文化の日。常設展示入場無料。

e. おこしやす・ぶんぱくフリーマーケット（17日）

高倉通に沿って館員が中心となったフリーマーケットを展開した。

### ②「関西文化の日」事業への連携

関西広域連携協議会、関西元気文化圏推進協議会主催の本事業に、11月17日（土）、18日（日）の両日協力した。常設展を無料開放し、2日間で934人（17日：493人、18日：441人）の方々にお越しいただいた。無料ということもあり、お客様の反応もよく、普段博物館になじみのない方にも親しんでいただくことができた。事業全体では327施設が参加し、総入場者数は310,988人であった。

### ③「きものの似合うまち・京都」づくり推進事業への協力

今年も昨年に引き続き、10月1日(月)から12月25日(火)まで、本事業への協力を行った。期間中には、和服姿の来館者が目に見えて増加し、本事業の定着と着実な効果が感じられる。

本事業は、京都府、京都市、京都商工会議所、(財)京都和装産業振興財団、京都織物卸商業組合、西陣織工業組合、京友禅協同組合連合会、京染卸商業組合、西陣織物産地問屋協同組合の9団体で構成する「きものの似合うまち・京都」実行委員会の主催事業であり、2001年度から始められたものである。

当初は、着物での来館者に対する割引制度であったが、2003年度からは、「きものパスポート」持参のきもの着用者は特別展、常設展とも入場料無料、同伴者は20%割引と、サービス内容が充実した。しかしながら、昨年度からは、常設展入場料は引き続き無料であるが、特別展入場料については割引(昨年度は2割引、今年度は前売料金割引)となりサービス内容が若干変更されている。利用者数は、特別展への入館者は516人、常設展への入館者は232人であった。

また、会期中には、本館エントランスを利用して伝統産業の実演を行い、特に週末や祝日は多くの方が見学された。映像ホールでは、「くらしの中の情緒-生活

にとけ込むきもの特集」と題して和装に関連した映画の上映も行った。

さらに、本事業に関連して、今年度春に行われた「京都市伝統産業の日2008」[京都市主催、3月14日(金)～3月23日(日)]の事業にも併せて協力した。春の実施期間には、常設展への入館者は226人(特別展は割引対象外)であった。

加えて平成17年度から、成人の日[1月14日(月・祝)]も、きもの着用者については無料とした。ただし利用者はなかった。

### ④「ミュージアムぐるっとパス関西2007」への参加

関西の2府4県(大阪、京都、兵庫、奈良、滋賀、和歌山)の合計65施設(2006年度も65施設)で利用が可能な「ミュージアムぐるっとパス関西2007」事業を実施した。主催は前述の65施設で組織する「ミュージアムぐるっとパス関西2007」実行委員会である。1冊1,000円で販売するパスを購入すると、最初の利用日から3ヶ月間(2005年度までは2ヶ月間)、対象施設で入場が無料となるなど様々なサービスが受けられる。当館については、常設展が無料、特別展が前売券料金となる特典を設定した。

今年度の当館での利用者は、常設展563人、特別展998人であった。



## 6. ギャラリー事業

### 6-1 5・6階展示室

#### (1) 京都文化財団展示室運営委員会

美術・工芸作家等が京都文化博物館5・6階展示室及び京都府立文化芸術会館展示室を使用するにあたって、展示室運営を適正かつ円滑に進めるために、京都文化財団では展示室運営委員会を設置している。本委員会の委員は学識経験者ならびに美術・工芸作家の中から理事長が委嘱し、任期は2年である。委員会の構成は学識者1名、日本画3名、洋画2名、彫刻1名、工芸3名（染織・陶芸・漆芸各1名）、書2名（仮名・漢字各1名）、写真1名の計13名で、展示室の使用を希

望する美術・工芸作家などの作品について審議している。

2007年度の委員会は以下のとおり開催した。

#### 展示室運営委員会

委員会開催日	審議対象期間	件数
2007年 7月 3日	2007年12月～2008年 3月	15
10月30日	2008年 4月～2008年 7月	27
2008年 3月 4日	2008年 8月～2008年11月	15

#### (2) 美術・工芸作家の利用

当館では開館以来、5階展示室に美術・工芸作家が利用できる場を設けている。利用期間を原則として毎月21日から月末の前日までと定め、府内に活動の本拠を持つ作家及び府内にゆかりのある作家に限定している。展示作品は、絵画・彫刻・工芸・書・デザイ

ン・写真・華道などのジャンルで、内容の充実しているものとし、利用の可否については、展示室運営委員会において利用申込者の作品を審議して決定している。

2007年度の利用件数は、49件であった。

#### 作家利用一覧

会期	展覧会名	分野	会期	展覧会名	分野
2007.4.18～22	DAYTON/ 京都版画交流展	洋画	10.5～8	書の森展	書
4.18～22	日本画光玄展	日本画	10.5～8	平安書道会聚英展	書
4.18～22	光勲能面展	諸工芸	10.5～8	京都ユネスコ協会美術工芸展	美術工芸 総合
4.18～22	きらら装う	染織	10.17～21	面法会 狂言・能面展	諸工芸
4.24～30	高井道夫展	洋画	10.17～21	蒼蒼展	洋画
4.26～30	新日美京都巡回展	美術工芸 総合	10.18～21	面匡会京都能面展	諸工芸
5.18～5.20	辛酉会書展	書	10.19～21	小椋会織物展	染織
5.23～5.27	京都書作家協会会員展	書	10.24～28	松月の会能面展	諸工芸
6.20～24	京都丹平写真展	写真	10.24～28	京の名工展	工芸総合
6.20～24	種々展	日本画	11.21～25	創工会展	工芸総合
6.20～24	井生展	日本画	11.23～25	絵更紗画林展	染織
6.20～24	染・四君子の会展	染織	12.12～16	第11回京都現代写真作家展	写真
7.4～8	2007 京都日本画家協会選抜展	日本画	12.18～24	余啓平画展	日本画
7.3～8	康津青磁日本巡回展	陶芸	12.18～24	金貞玉陶展	陶芸
7.24～29	植田昌明作品展	洋画	12.20～24	帆の会展	洋画
7.24～29	現代美術日韓交流展	陶芸	2008.1.24～27	北奥耕一郎新春写真展	写真
8.22～26	中島佳彦写真展	写真	1.24～27	京都現代書芸展	書
8.22～26	六齋会篆刻作品展	書	2.22～24	京都橋大学書道コース卒業制作展	書
8.22～26	ファインド・アイ文人光画展	写真	2.29～3/1	水明書道会墨聚展	書
9.14～17	文字文化研究所 20周年記念	書	3.13～16	村城翠江ちぎり絵展	諸工芸
9.19～24	大熊 峻展	洋画	3.19～23	あまがつ会人形作品展	諸工芸
9.20～24	光風工芸「明日へのかたち」展	工芸総合	3.19～23	蒼龍展	書
9.20～24	葵祭写真展	写真	3.19～23	汎貝象会友と受賞作品展	洋画
9.26～29	絵更紗美術協会会員展	染織	3.19～23	新日美京都支部展	美術工芸 総合
			3.25～30	市川洋展	洋画
			計 49件 (109日間)		44,982人

作家利用分野別入場者

	美術						工芸				美術 工芸 総合	総計
	日本画	洋画	書	写真	彫刻	美術総合	染織	陶芸	諸工芸	工芸総合		
使用件数	5	8	10	6	0	0	5	3	6	3	3	49
割合 (%)	10	16	20	12	0	0	10	6	12	6	6	100%
入場者数	4,604	5,648	8,373	8,252	0	0	2,839	1,786	4,898	6,476	2,106	44,982
1件平均入場者数	921	706	837	1,375	0	0	568	595	816	2,159	702	918

(3) 生涯学習的発表期間の利用

1998年より、5階・6階各展示室に生涯学習的発表期間を設けた。これは美術・工芸作家の利用に準ずる

利用期間として、美術・工芸作家及び技能芸能継承者の指導するグループの発表期間を設けたものである。

生涯学習利用分野別入場者数

会場	会期	展覧会名	分野	入場者数
5階	2007. 4.12～ 4.15	華やいで春ペドール展	諸工芸	1,453
	4.12～ 4.15	第16回ふしぎな花倶楽部押花アート展	諸工芸	1,247
	5.15～ 5.20	丸山敏雄「書と心」展	書	2,453
	5.22～ 5.27	第16回雪秀会 能面展	諸工芸	1,548
	5.29～ 6. 3	紫明写真クラブ第18回作品展	写真	471
	5.29～ 6. 3	絵画としての筒描展	染織/染色	1,179
	6. 8～ 6.10	若山雅子 クリプキルト作品展	諸工芸	942
	6.14～ 6.17	第11回アトリエピンク合同作品展	諸工芸	568
	6.26～ 7. 1	明日をひらく絵画 第25回 上野の森美術館大賞展	洋画	1,368
	7.19～ 7.22	大阪成蹊大学芸術学部美術工芸学科3年生展	(美術) 総合	616
	7.24～ 7.29	前田誠・董浩美術展	洋画	352
	9. 8～ 9.12	染色水墨・深雪アートフラワー森田教室	諸工芸	552
	9.14～ 9.17	文字文化研究所創立20周年記念事業「文字文化作品展」	書	600
	10. 5～ 10. 8	一家具・調度品を彫刻で飾って一木彫作品展	諸工芸	1,289
	10.10～ 10.14	"Composition" 写真展 千尋 vs 與兵衛	写真	247
	10.10～ 10.14	人形組魔浮・京都展ドールシンフォニー in 京都	諸工芸	737
	10.31～ 11. 4	八十山和代展～日本ブラジル100周年記念～	洋画	466
	11.10～ 11.14	栄美子戸田ローブとニューゼファーズキルト展	諸工芸	1,123
	2008. 1.11～ 1.14	大藪沙羅書芸教室新春書芸展	書	1,085
	2. 8～ 2.11	「京の伝統工芸新人作品展」第12回京都伝統工芸大学校卒業記念作品展	(工芸) 総合	3,757
2.14～ 2.17	京都工芸繊維大学造形工芸学科卒業制作展	(美術) 総合	1,460	
3. 2～ 3. 4	第21回全国シルバー書道展京都展	書	1,172	
3.13～ 3.16	京都展・美装2008	(美術) 総合	570	
3.27～ 3.30	第25回桃夭会日本画展	日本画	573	
計 24件 使用日数：109日				25,828

会場	会期	展覧会名	分野	入場者数
6階	2007.	4. 1 平成 19 年染織光悦會展	染織／染色	335
		4.11 体験学習「京舞」	その他	91
		5.10 体験学習「座禅」	その他	330
		5.13 第 14 回あねさん亭分博寄席	その他	82
		5.16 体験学習「京焼き絵付け」	その他	152
		6. 2 体験学習「京舞」	その他	179
		6. 7 体験学習「京舞」	その他	113
		6.27 祇園御霊会屏風祭	諸工芸	158
		7.14 「京都がわかる文化講座」シリーズ～知って得する祇園祭～京都民俗学入門	その他	48
		8. 1～ 8. 3 (財)片山家能楽・京舞保存財団 第 11 回能装束・能面展	(工芸) 総合	870
		8.25 灯りで結ぶ姉小路 岩上力先生による講演会	その他	83
		9.11～ 9.17 ふみとかまぼこ板の絵の物語	その他	3,384
		10. 6～ 10. 8 米田孝雄 水墨の世界	日本画	284
		10.17～ 10.18 第 35 回シニア大学学園文化祭	(美術) 総合	529
		10.20～ 10.21 第 36 回表芸展	諸工芸	315
		10.27 松文会 秋の集い	その他	140
		10.28 第 15 回あねさん亭分博寄席	その他	70
		11.10～ 11.11 第十回竹心展	書	343
		11.10～ 11.11 叡山学院墨跡展	書	257
		11.13～ 11.14 京の型染技術研究保存会	諸工芸	280
		11.16～ 11.18 第 43 回龍門社選抜書道展	書	1,133
		2008. 2. 3 第 16 回あねさん亭分博寄席	その他	110
		2. 9～ 2.11 京都の金属工展	金工	983
		3. 1 第一回京の三条寄席	その他	200
		3.23～ 3.30 手技に学ぶー京都の伝統産業の現場からー	(工芸) 総合	1,354

25 件 使用日数：50 日 11,823

#### 生涯学習利用分野別入場者数

会場	和装 呉服	美術							工芸				美術 工芸 総合	その他	総計	
		日本画	洋画	書	写真	美術 総合	小計	染織	陶芸・金 竹・漆	諸工芸	工芸 総合	小計				
5階	件数	-	1	3	4	2	3	13	1	-	9	1	11	-	-	24
	日数	-	4	17	17	11	12	61	6	-	38	4	48	-	-	109
	人数	-	573	2,186	5,310	718	2,646	11,433	1,179	-	9,459	3,757	14,395	-	-	25,828
6階	件数	-	1	-	3	-	1	18	1	1	3	2	7	-	13	25
	日数	-	3	-	7	-	2	31	1	3	5	10	19	-	19	50
	人数	-	284	-	1,733	-	529	7,528	335	983	753	2,224	4,295	-	4,982	11,823

※ 6階「その他」は体験学習、落語会等。

#### (4) 一般の利用

5階展示室及び6階展示室は美術・工芸作品の展覧会などの他、京物と称される京都の伝統産業製品を紹介することを目的とした展示会、内見会、見本市などの会場としても利用されている。

#### 一般利用

場所	和装 呉服	美術	染織	工芸	その他	計	
5階	件数	6	4	-	4	1	15
	日数	12	9	-	10	2	33
	人数	1,240	3,344	-	3,832	200	8,616
6階	件数	18	-	-	-	-	18
	日数	37	-	-	-	-	37
	人数	4,200	-	-	-	-	4,200

※美術：日本画、洋画、書、写真など

※工芸：陶芸、金工、竹工、漆芸、諸工芸など

## 6-2 別館ホール

旧日本銀行京都支店（重要文化財）の営業室であった別館ホールは、通常は明治時代の代表的な洋風近代建築の内部を公開しているが、一方で多目的ホールとしての機能も持っている。特別展の開会式やレセプ

ション、音楽会など館主催の事業に使用するとともに、貸会場として展覧会や音楽会などの利用にも提供している。

### 別館利用状況

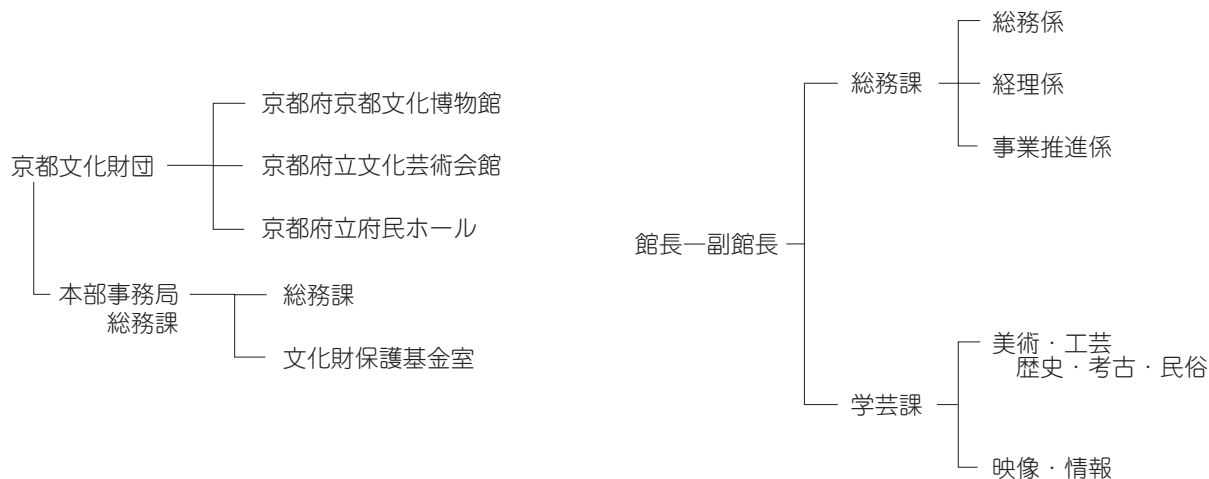
会 期	展覧会・音楽会名	会 期	展覧会・音楽会名
4.4	京都フィルハーモニー室内楽団定期演奏会	10.10～20	Silver of the Stars & エディンバラ展
4.7	アジアンフェスタ	10.23～28	ひと・アート・まち 京都
4.8	金子翼サクソフォンリサイタル	10.31	京都フィルハーモニー合奏団室内楽団定期演奏会
4.13	19世紀イタリアの政治文芸と G.VELDI	11.2～4	第9回佐々木真弓アトリエエンジェル
4.19	LA NOCHE LATINA 三品國男& マリアッチニッポン		スタンドグラスランプ展
4.21	第6回 子ども絵てがみコンテスト表彰式	11.13	キモノ和今洋彩
4.22	ウエディング	11.16～18	アトリエスノーホワイト 20周年記念
4.28～29	第5回サロン・ドブーケ作品展		デコラティブペイント作品展
4.30	京都 C. モンテヴェルディ合唱団 定期演奏会	11.20	ルス・マリーア・ポバディージャ
5.11	アンサンブルりくむコンサート vol.8		ギターリサイタル 2007 秋
	「いおどりくむ！」	11.23～25	京都ふるほん博覧会
5.19	平井真美子ピアノダイアリーコンサート	12.1～2	AMUSE ART JAM 2007 in Kyoto
5.24	A. メイヤー、岩崎勇 バッハの共演	12.8	侯野美穂&秋田街子ジョイントリサイタル
5.26～27	きょうと文博骨董まつり	12.9	Clair Concert d'Hiver
6.1～2	くれまちす 発表会	12.12	第11回京都現代写真作家展 講演会
6.3	野沢香苗 二胡コンサート 奏音 (kana-oto)	12.15	グループ・朝 第25回コンサート
6.9	ヴァイオリン & ピアノソナタの夕べ	12.16	2007 CHRISTMAS CONCERT 京都室内合唱団
	～中村亜季 田中弥生デュオリサイタル～		第11回定期演奏会
6.17	日本展示学会第26回研究大会 再生デザインと展示	12.22	翔ユリ子クリスマスコンサート
	一関西の展示学環境を考えるー	12.23	第3回アンサンブル・アワーズコンサート
6.23	JAZZ AT SANJYO BUNKA MUSEUM	1.5～6	きょうと文博骨董まつり
6.29	京都フィルハーモニー室内楽団定期演奏会	1.19	ウエディング
6.30	珠玉のフランス音楽	1.20	JM コンサート
	～フランス歌曲そしてオペラアリアとピアノ曲～	1.26～27	KPA 京プリント後継者育成事業
7.18	Cotys [コテュス] がお届けする音楽会		「メイキング・ワークショップ 2008」
7.21	歌の花束	2.1	阿武野逢世 20周年コンサート
7.22	美 BRILLAN	2.2	京都フィルハーモニー室内合奏団定期演奏会
7.27	歌の花束	2.9	第4回 春を告げる エンブリオンコンサート
	美 BRILLAN	2.10	第16回 フラメンコ in Kyoto
7.28	野村朋子ヴァイオリンリサイタル	2.14～17	京都工芸繊維大学大学院建築工学科修了制作展
7.29	フェリックス室内合奏団 第19回演奏会	2.14～17	京都工芸繊維大学大学院デザイン修了制作展
8.5	ジュスカ・グランパール	2.20	高麗恵子 詩と語り「大地の声」
	NEW アルバムリリース記念ライブ	2.22	しののめ ～京都教育大学修士演奏会
8.12	夏休み親子セミナー	2.23	Vesna 5周年記念 東欧とロシア音楽演奏会
8.26	ANDANTE PIANO CONCERT	2.24	柴田高明・亀井貴幸 マンドリンとギター
8.29	京都トランペットグループ「Summer Breeze」		時代の響きを求めて～バロックから現代まで～
	レギュラーコンサート	2.29	京都金管五重奏団 CONCERT 2008
9.2	ムジカ・デ・フィガロ	3.1	エイジ・オブ・エンライト管弦楽団
9.8～9	きょうと文博骨董まつり		メンバーによるマスタークラス
9.14	Quesa デビューアルバム「音ハジキ」	3.2	アンサンブル・セリオソ第一回定期演奏会
	リリースパーティー	3.6～9	専門学校 飛騨国際工芸学園
9.15	本山秀毅先生を囲む会		show&shop 2008 卒業・進級制作展
9.16	ウエディング	3.11	第7回ケータイ国際フォーラム
9.22	東欧ユダヤ音楽クレスマー演奏会		・トップカンファレンス
	シャガールが愛した故郷の旋律	3.13～16	京都展美奏 2008
9.23	"ヨハネ受難曲"に見るバッハの魅力	3.20～21	京鹿の子絞工芸展
9.29	片岡敬いにしへの都に歌う	3.22	音楽会
9.30	第16回グループ Lydia コンサート	3.25	菊本歩 打楽器リサイタル 2008
10.4	INTER IMPROVISATION FESTIVAL 2007	3.28～30	京都アートフリーマーケット 2007・春
10.6～8	京都アートフリーマーケット 2007・秋		

入場者数 計 100,783人

## 7 管理・運営

### 7-1 組織と職員

#### (1) 組織



※総務係・経理係は京都文化財団本部総務課を兼ねる。

#### (2) 京都文化財団役員

##### 役員名簿

2008年(平成20年)3月31日現在

職名	氏名	所属等	職名	氏名	所属等
顧問	山田 啓二	京都府知事	理事	田中 恆清	石清水八幡宮宮司
	岡本 道雄	京都大学名誉教授、前京都文化財団理事長		角田 文衛	元古代学協会理事長
理事長	荒卷 禎一	前京都府知事、京都文化博物館館長		堂本 元次	日本画家
副理事長	千 玄室	前茶道裏千家家元		西村 恭子	美術プロデューサー
	麻生 純	京都府副知事		野中 信夫	元 NPO MCEI 専務理事
常務理事	鈴木 真咲	京都文化博物館副館長		日比野光鳳	書家
理事	有馬 頼底	相国寺管長		藤田 哲也	京都府教育委員会委員長
	池坊 由紀	華道家元池坊次期家元		増田 正蔵	京都新聞社代表取締役会長兼社長
	井上八千代	京舞井上流家元		村井 康彦	京都市美術館館長
	今井 政之	陶芸家		山本 壯太	元 NHK 大阪文化センター取締役総支社長
	岩淵龍太郎	京都市立芸術大学名誉教授		山内 一	京都府府民労働部文化芸術室室長
	奥村 泰三	京都府社会教育委員連絡協議会会長	監事	岡田 博邦	京都銀行協会専務理事
	神林 恒道	立命館大学大学院教授		大槻 茂	京都府出納管理局長
	立石 義雄	京都商工会議所会頭			

### (3) 京都文化博物館職員

#### 職員名簿

2008年(平成20年)3月31日現在

所 属	職 名	氏 名	担当業務	備 考
	館長 副館長	荒巻 禎一 鈴木 真咲	館総括 館業務総括	財団理事長 2003.6～ 財団常務理事・事務局長 2006.6～
総務課	課長・事業推進係長事務取扱 参事 経理係長 総務係長 主任 参事・文化財保護基金室長 主任 主任 主事 嘱託	藤井 貢 金田 暁 森木 礼子 佐藤 幸央 海老名和孝 上田 勝 森 雅樹 磯野真知子 高桑 鉄則 渡辺紀久子	課総括 総務係 経理係 総務係 総務係 総務課兼務 事業推進係 事業推進係 事業推進係 事業推進係	財団本部事務局兼務 2004.5～ 財団本部事務局兼務 財団本部事務局兼務 財団本部事務局兼務 財団本部事務局兼務 財団本部事務局文化財保護基金室 2005.4～  2007.4～ 2006.4～
学芸課	課長 主幹・主任学芸員 主任学芸員 学芸員(主任) 学芸員(主任) 学芸員(主任) 学芸員 学芸員 映像・情報室長 主任学芸員 調査役 嘱託 嘱託	畑 智子 植山 茂 南 博史 長舟 洋司 洲鎌佐智子 野口 剛 市川 彰 横山 和弘 森脇 清隆 鈴木 忠司 井上 大輔 青木 完一	課総括 歴史担当 歴史担当 美術担当 工芸担当 美術担当 美術担当 歴史担当 映像・情報担当 歴史担当 映像・情報担当 映像	        非常勤 2007.4～ 2005.4～ 非常勤

## 7-2 施設

### (1) 本館関係

所在地：京都市中京区高倉通三条上ル東片町623-1

設計：京都府土木建築部営繕課・(株)久米建築事務所

施工期間：1986年10月～1988年9月

敷地面積：4,790.35㎡(別館を含む)

建築面積：3,481.04㎡(別館を含む)

延床面積：15,827.42㎡(別館を含む)

本館床面積内訳：

地階 2,242.42㎡ / 1階 2,265.29㎡

2階 1,853.39㎡ / 3階 1,908.79㎡

4階 1,442.19㎡ / 5階 1,442.19㎡

6階 1,218.28㎡ / 7階 1,010.43㎡

塔屋 182.88㎡

構造：鉄骨鉄筋コンクリート造 / 一部鉄骨造

### (2) 別館関係

所在地：京都市中京区三条通高倉西入ル菱屋町48番地

設計：辰野金吾・長野宇平治

施工期間：1903(明治36)年9月～1906(明治39)年6月

延床面積：2,261.56㎡

別館構造：建築面積—819.67㎡

煉瓦造、2階建一部地下1階

スレート・銅板葺、両翼塔屋付

旧金庫構造：建築面積—187.10㎡

煉瓦造、1階建、棧瓦葺

指 定：重要文化財

指定名称—旧日本銀行京都支店

指定年月日—1969年3月12日

指定書番号—建第1,708号

### 7-3 ろうじ店舗

「ろうじ店舗」は本館1階にあり、江戸時代末期の京町家の外観を復元したものである。高倉通側には京料理などの飲食店、西側の路地には京物と呼ばれる伝統工芸品や土産物を扱う物販店が営業している。また、ろうじ店舗各店でつくる「ろうじ店舗博和会」は当館の協力会として催しにあわせて積極的に活動している。本年度のろうじ店舗利用者は225,477人であった。

#### (1) ろうじ店舗一覧

- ◇紙の店—楽紙館
- ◇京しゅみ—菰軒
- ◇京のエッセンス17舗名店会（順不同）
  - 薫香—松栄堂
  - 念珠—福永念珠舗
  - 京佃煮—野村
  - 京扇子—とくの
  - 八つ橋—井筒八ツ橋
  - 京小間物—光悦
  - 野菜せんべい—京煎堂
  - 京麩—半兵衛麩
  - 京菓子—鼓月
  - 宇治茶—福寿園
  - 京象嵌—川人象嵌
  - 京の雅—古澤仙壽堂
  - 京風雅便箋—表現社
  - 縮緬小物—くろちく

化粧小物—左り馬  
竹の匠—高野竹工

- ◇町家料理 鳥彌三—あざみ
- ◇手打ちそば・蕎麦料理—有喜屋
- ◇豆腐料理—有福
- ◇エスプレッソコーヒーの店—コロラドコーヒー
- ◇織屋直販店—ショップ西陣（順不同）
  - 風呂敷—上羽機業
  - ネクタイ—段下二郎
  - 西陣金襴—岱崎織物
  - 絹のれん—渡文
  - 綴れグッズ—暁山織物
  - 金襴・人形—もりさん
- ◇ミュージアムショップ—便利堂
- ◇珈琲サロン（別館）—阿蘭陀館

#### (2) 別館店舗一覧

- ◇Contemporary Art JARFO京・文博
- ◇アートギャラリー arton
- ◇住遊生活—和座百衆
- ◇Social Design Café soboro

#### (3) 博和会・ろうじ行事

ろうじ店舗東側通路の利用状況（平成19年度）

区分	名称	月 日
博和会行事	呉美の市	4月13日～15日
	呉美の市	5月18日～20日
	呉美の市	6月15日～17日
	呉美の市	7月13日～17日
	京扇子とくの	7月14日～17日
	呉美の市	9月21日～23日
	呉美の市	10月19日～21日
	呉美の市	11月23日～25日
	呉美の市	2008年3月20日～23日
地域活用	京都府立図書館子ども絵手紙コンテスト	4月19日～5月6日
	高倉小学校卒業生け花展	2008年2月22日～28日
	池坊華道会生け花展	3月6日～9日

## 8. 2007(平成19)年度のあゆみ

※事項欄の「MH」は映像ホール、「AH」は別館ホール、「AL」は別館講義室

月 日	事 項	月 日	事 項
2007年		14日	祇園祭協賛演奏会 (～16日/AH)
4月4日	京都フィルハーモニー室内楽団定期演奏会 (AH)	18日	Cotys [コテュス] がお届けする音楽会 (AH)
5日	歴史とともに音楽を楽しむ音楽会シリーズ・XVI ウィーン音楽の旅立ち—中欧からスラヴへ 第4夜 スラヴ音楽の成熟と南への憧れ (AH)	21日	歌の花束 (AH)
7日	アジアンフェスタ (AH)	22日	美 BRILLAN (AH)
8日	金子翼サクソフォンリサイタル (AH)	27日	伝統未来研究センター2007年第2回講演会～文化財を護りたい—科学技術で～ (AH)
13日	「丸紅コレクション 絵画と衣裳美の名品展」開催 (～5月27日/4階)	28日	野村朋子ヴァイオリンリサイタル (AH)
13日	19世紀イタリアの政治文芸と G.VELDI (AH)	29日	フェリックス室内合奏団 第19回演奏会 (AH)
13日	ろうじ呉美の市 (～15日/ろうじ)	31日	歴史特別陳列「近代輸出工芸の華 京七宝」 (～11月4日/2階)
14日	「丸紅コレクション美の名品展」講演会 (杉浦勉氏/AH)	8月4日	「ナスカ展」開催 (～9月24日/4階)
17日	歴史特別陳列「狩野益信筆洛中洛外図」 (～5月13日/2階)	5日	博物館実習 (～8日)
19日	京都府立図書館子ども絵手紙コンテスト (～5月6日/ろうじ)	5日	ジュスカ・グランパール NEWアルバムリリース記念ライブ (AH)
19日	LA NOCHE LATINA 三品国男 & マリアアッチニッポン (AH)	9日	歴史とともに音楽を楽しむ音楽会シリーズ・XVI ウィーン音楽の旅立ち—中欧からスラヴへ 第6夜 スラヴ音楽の円熟と N. ルビンシテインへの追憶 (AH)
21日	歴史常設展展示解説 (横山/2階)	11日	「ナスカ展」講演会 (藤井・馬瀬氏/AH)
21日	第6回子ども読書絵手紙コンテスト表彰式 (AH)	12日	夏休み親子セミナー (AH)
22日	ウエディング (AH)	19日	第2回友の会見学会「七夕の祭 乞巧奠」
28日	第5回サロン・ドブーケ作品展 (～29日/AH)	25日	歴史常設展展示解説 (南/2階)
30日	京都C. モンテヴェルディ合唱団定期演奏会 (AH)	26日	ANDANTE PIANO CONCERT (AH)
5月3日	「丸紅コレクション美の名品展」講演会 (岡田温司氏/AH)	29日	京都トランペットグループ「Summer Breeze」レギュラーコンサート (AH)
11日	アンサンブルリくむコンサート vol.8「i おどりとむ！」 (AH)	9月2日	ムジカ・デ・フィガロ (AH)
13日	「丸紅コレクション美の名品展」講演会 (河上繁樹氏/AH)	8日	きょうと文博骨董まつり (～9日/AH)
15日	歴史特別陳列「鳥瞰図絵師・吉田初三郎の名所案内図」 (～6月17日/2階)	11日	「ナスカ展」コンサート (瀬木貴将氏/AH)
18日	ろうじ呉美の市 (～20日/ろうじ)	14日	Quesa デビューアルバム「音ハジキ」リリースパーティー (AH)
19日	歴史常設展展示解説 (植山/2階)	15日	本山秀毅先生を囲む会 (AH)
19日	平井真美子ピアノダイアリーコンサート (AH)	15日	歴史常設展展示解説 (横山/2階)
24日	A. メイヤー、岩崎勇ハッハの共演 (AH)	16日	ウエディング (AH)
26日	きょうと文博骨董まつり (～27日/AH)	21日	ろうじ呉美の市 (～23日/ろうじ)
6月1日	くれまちす発表会 (～2日/AH)	22日	東欧ユダヤ音楽クレスマー演奏会 シャガールが愛した故郷の旋律 (AH)
3日	野沢香苗二胡コンサート奏音 (kana-oto) (AH)	23日	"ヨハネ受難曲"に見るハッハの魅力 (AH)
7日	歴史とともに音楽を楽しむ音楽会シリーズ・XVI ウィーン音楽の旅立ち—中欧からスラヴへ 第5夜 ロシア国民音楽の大成 (AH)	29日	片岡敬いにしへの都に歌う (AH)
9日	「ティアラ展」開催 (～7月22日/4階)	30日	第16回グループ Lydia コンサート (AH)
9日	ヴァイオリン & ピアノソナタの夕べ～中村亜季・田中弥生デュオリサイタル～ (AH)	10月3日	歴史とともに音楽を楽しむ音楽会シリーズ・XVI 作品を通して見るベートーヴェンの生涯 第1夜 楽聖の生きた時代 (AH)
9日	「MOKの会」6月例会見学研修 (2階)	4日	INTER IMPROVISATION FESTIVAL 2007 (AH)
15日	ろうじ呉美の市 (～17日/ろうじ)	6日	京都アートフリーマーケット2007・秋 (～8日/AH)
16日	歴史常設展展示解説 (南/2階)	6日	「トプカブ宮殿の至宝展」開催 (～12月2日/4階)
17日	日本展示学会第26回研究大会再生デザインと展示—関西の展示学環境を考える— (AH)	10日	Silver of the Stars & エディンバラ展 (～20日/AH)
18日	第1回友の会見学会「東山の工房を訪ねて」	13日	歴史常設展展示解説 (平沢源平氏・南/2F)
19日	歴史特別陳列「菊水鉾巡行模型」 (～7月29日/2階)	19日	ろうじ呉美の市 (～21日/ろうじ)
23日	JAZZ AT SANJYO BUNKA MUSEUM (AH)	20日	「トプカブ宮殿の至宝展」講演会 (水野美奈子氏/MH)
29日	京都フィルハーモニー室内楽団定期演奏会 (AH)	23日	ひと・アート・まち 京都 (～28日/AH)
30日	珠玉のフランス音楽～フランス歌曲そしてオペリアリアとピアノ曲～ (AH)	31日	京都フィルハーモニー合奏団室内楽団定期演奏会 (AH)
7月13日	ろうじ呉美の市 (～17日/ろうじ)	11月2日	第9回佐々木真弓アトリエエンジェル ステンドグラスランブ展 (～4日/AH)
14日	歴史常設展展示解説 (植山/2階)	6日	歴史特別陳列「誓願寺門前図屏風を『読む』」 (～12月16日/2階)



9日	「トブカブ宮殿の至宝展」コンサート (Kadife trio / AH)	8日	第4回友の会見学会「重要文化財 野村碧雲荘」
10日	オータムミュージアムコンサート (～11日 / AH)	9日	第4回 春を告げる エンブリオンコンサート (AH)
13日	キモノ和今洋彩 (AH)	10日	第16回 フラメンコ in Kyoto (AH)
16日	アトリエスノーホワイト20周年記念 デコラティブペイント作品展 (～18日 / AH)	14日	京都工芸繊維大学大学院建築工学科・デザイン修士制作展 (～17日 / AH・AL)
16日	第3回友の会見学会「秋の御室に京焼きの伝統を訪ねて」	16日	歴史常設展展示解説 (横山 / 2階)
17日	歴史常設展展示解説 (市川 / 2階)	20日	高麗恵子 詩と語り「大地の声」 (AH)
20日	ルス・マリア・ポバディージャ ギターリサイタル2007秋 (AH)	21日	歴史とともに音楽を楽しむ音楽会シリーズ・XVII 作品を通して見るベートーヴェンの生涯 第3夜 共和制への息吹の中で (AH)
23日	ろうじ呉美の市 (～25日 / ろうじ)	22日	高倉小学校卒業生け花展 (～28日 / ろうじ)
23日	京都ふるほん博覧会 (～25日 / AH)	22日	しのめ ～京都教育大学修士演奏会 (AH)
12月1日	AMUSE ART JAM 2007 in Kyoto (～2日 / AH)	23日	Vesnal5周年記念 東欧とロシア音楽演奏会 (AH)
6日	歴史とともに音楽を楽しむ音楽会シリーズ・XVII 作品を通して見るベートーヴェンの生涯 第2夜 オストマルクから神聖ローマ帝国へ (AH)	24日	柴田高明・亀井貞幸 マンドリンとギター 時代の響きを求めて～バロックから現代まで～ (AH)
8日	俣野美穂&秋田街子ジョイントリサイタル (AH)	27日	美術工芸常設展「静かなる情感」 (～4月13日 / 3階)
9日	Clair Concert d'Hiver (AH)	29日	京都金管五重奏団 CONCERT 2008 (AH)
11日	美術工芸常設展「京都府コレクション・収集と修復の成果」 (～2008年1月14日 / 3階)	3月1日	エイジ・オブ・エンライト管弦楽団 メンバーによるマスタークラス (AH)
12日	第11回京都現代写真作家展 講演会 (AH)		歴史常設展展示解説 (南 / 2階)
15日	グループ・朝 第25回コンサート (AH)	2日	アンサンブル・セリオーン第一回定期演奏会 (AH)
16日	2007 CHRISTMAS CONCERT 京都室内合唱団 第11回定期演奏会 (AH)	6日	専門学校 飛騨国際工芸学園 show&shop 2008 卒業・進級制作展 (～9日 / AH)
18日	歴史特別陳列「平安京の鬼瓦と鴟尾」 (～2008年4月20日 / 2階)	6日	池坊華道会生け花展 (～9日 / ろうじ)
22日	翔ユリ子クリスマスコンサート (AH)	8日	「乾山の芸術と光琳展」開催 (～4月13日 / 4階)
	歴史常設展展示解説 (植山 / 2階)	11日	第7回ケータイ国際フォーラム・トップカンファレンス (AH)
23日	第3回アンサンブル・アワーズコンサート ( / AH)	13日	京都展美奏 2008 (～16日 / AH)
2008年		15日	「乾山の芸術と光琳展」講演会 (荒川政明氏 / MH)
1月4日	「京都府美術工芸新鋭展」開催 (～27日 / 6階)	20日	京鹿の子絞工芸展 (～21日 / AH)
5日	きょうと文博骨董まつり (～6日 / AH)	20日	ろうじ呉美の市 (～23日 / ろうじ)
16日	「川端康成と東山魁夷展」開催 (～2月24日 / 4階)	21日	友の会文化講座「乾山の芸術と光琳展」 (洲鎌 / MH)
19日	ウエディング (AH)	22日	音楽会 (AH)
20日	JM コンサート (AH)	23日	シンポジウム「乾山はんはなにを求めたか」 (荒川・竹中・平尾・木立氏 / AH)
26日	KPA 京プリント後継者育成事業 「メイキング・ワークショップ 2008」 (～27日 / AH)	25日	菊本歩 打楽器リサイタル 2008 (AH)
2月1日	阿武野逢世20周年コンサート (AH)	28日	京都アートフリーマーケット 2007・春 (～30日 / AH)
2日	京都フィルハーモニー室内合奏団定期演奏会 (AH)		
3日	対談「川端康成と東山魁夷展 魂の交流」 (川端香男里・水原園博氏 / AH)		

---

## 京都文化博物館2007(平成19)年度年報

発行日 2008年12月25日  
編集・発行 京都府京都文化博物館  
〒604-8183 京都市中京区三条高倉  
TEL 075-222-0888  
FAX 075-222-0889  
印刷 (株)吉川印刷工業所  
〒601-8353 京都市南区吉祥院這登中町45-1  
TEL 075-691-8186